

宋  
書  
山  
亭  
記

02-BR

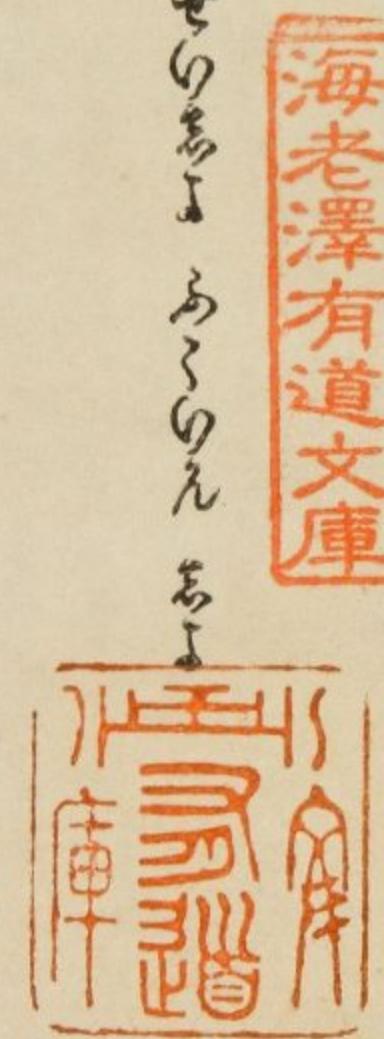
海老澤文庫

02-BR  
3147  
2

Marko-den Fukùincio.

東畠由亭趾

よこはま、一千八百八十一ねん、明治十四年



あひやく せりあよ あくいん あよ



東・田舎道



あくまでん あくのん あよ

きの むきと あす さりととの あくのんの そじめ。

2 よけんしや あらやの あきよ、 3 よ これ あんぢの  
やもの あくよ ひづりひと つりせさん。 やれ あんぢの まちと  
そあくべーと、 3 あくのよ よぶひとの こゑ ありりもく、 あん  
ぢと まちと そあく、 その ひづりを まけをくよ せふと  
あくされ、 4 よはねのよ おりと あげめを わどく一 つまの  
ゆるーの あめよ くひあめ、 あめの あげめを のべつまへなり。 5 その  
とき ゆだやの くよがうと ある さきむの ひとびと まみりそりと おの  
の その つまと さくにけー われよ よりと よるだん がまよと あげ  
めを うけり。

6 よはねい らくかの けごうと きこくよ めきの おびと あめと  
のあごとの まくと あよと せり。 7 めれの ぐいひけくわ、 ひづ

あとよこれおりつまうひあさるものきくとん。されのどうきて  
そのざうりのひもととくよもさとせ。8 されん あんぢとと  
そじよ あらめり、されど やれん あんぢととさくみくよ  
あらめ さすさん。

9 そのころよあさりをあすがまといのあされよりきくりよるだん  
みそよはねよりあらめをうけり。10 そじちよそじのあらより  
あらるときてんじうれとみくよはとのじとくおのれまくづくと  
そくよくり。11 あくこゑてんよりきくりを、あんぢれそじ  
あらきるむきと、さくようくとくのゆのありとりくり。  
12 そじちよみくよゑきとのゆゆく。  
13 さてあすあらう  
みちのよとどよりをまくよこくろきとれ、のくけものととくよ  
をり さすひーぐてんのつうひくちあはよつうくり。  
14 よはねととまれーのもあすがまらひよりくり、かみのさり  
そりのおとづれとのがづくとつひけるへ、15 ときわそくり、

かみのまづりとちうげけり。あんぢとくひあとくめてそり  
そひのおとづれとあんせよ。

16 あすがまといのそじうきよそかてあらくとまおせんとそ  
きやうざりのあんてれとあまとそじうきようとそくよくり。  
のれとれもあどりびとあり。17 あすのれとよりひけふり、されよ  
あらうひ きくれ、され あんぢとぞと あんけふと すあどる  
ものとあとしめん。18 めれとそじちよあまとまくとあまよ  
あらうひ。19 こくありまくとまくまくよくひーぐせべだいの  
むきとやことそまきやうざりのよはね あねよとあまとつ  
ちふとまくそじちよこれとよひければ 20 めれとそまくせべ  
たいとやとひどとあねよのとーとあまよあらうひゆけり。  
21 めれとせばるあうむよりくりあどあくあすあんまくみくよ  
くきりとよりりとをくくそくよくり。22 めれあふやくのとく  
あとせ・けんるあるものとくよをくくゆゑよひとびと

そのをへくよあとうめぐり。<sup>23</sup> さて うきのどうよあけつのあく  
あよとりつらねるゆのありへく<sup>24</sup> まけんをりひけふれ、あく  
あざれのあがよ、これとあるとあんのゆうよりあとうめぐり。あく  
うれどと やうがす くめよ きくわく。これ あるくわく され ある  
うを ある、キあともちかきの きよか ゆのあり。<sup>25</sup> あす これと いよ  
りめて、ざまれ、めれ ありりでまと のくすひければ <sup>26</sup> あけつの  
あくよ その ひとつ ひきつけ おわごゑよ まけんを うせくり。<sup>27</sup>  
めれ さあ ねどろき ふくびよ あくわり てりひけふれ、これ あく  
ごとぞや、けふる あら あくへーか そへくめく。めれ あけつの  
あくよ めりと ければ めれと クれよ あくわく。<sup>28</sup> くちすち  
ゑの ああねく かさらの やとりよ ひくまり。

<sup>29</sup> われと くさりどり よりりで、くじらよ やこがと よはねと とく  
あひと おもんねよびあんてれの ひくまりれり。<sup>30</sup> その とく おもんの  
あうとめねうと やまと あく あくうしが めれと うそせと これと

ゑよつぐ。<sup>31</sup> さて あす さくへり その てと とりて これと おく  
けれべねう なりと その きふあめれと つらへくり。<sup>32</sup> ゆうく  
ひくまと ひとひと もう ゆうの ひやうふんと あくよよ とり  
ううれく ゆのどもと ゑよ つれ きくわくと <sup>33</sup> まちぢうの ゆの  
のどぐちよ あうめれり。<sup>34</sup> あうして あす さまざまの やすひと  
ひじへる ひとひと つやーめう おわくの あくよと おひつぶ  
して めれとの やくこと ゆく さまざまざり。そく あくよ  
のれと あくよ よりと あり。

<sup>35</sup> あす よあけまくよ ちやく おきりでく さむへきと うろよ ゆき  
そくよて うりめり さまくり。<sup>36</sup> おもんねよびめれと とくよ あり  
もの その あとと ねふと ゆき、<sup>37</sup> あがよ あひと、ひとひと ま  
ああくと うげぬと うへり。<sup>38</sup> あす めれとよ のくすひ けふれ、  
それ やうの とくわよ キへく ゆのあら くめよ これと さくふんの  
むくわよ ゆくべ。そく これ この くめよ きくわれば あり。

<sup>39</sup> つひよ がさらひぢうと めぐり くさりどうふと せーくと のべ  
のうあくおとねひりづー とまへり。

<sup>40</sup> らひびやうの ものひとり 無きよ さへり ひぎすうづきと ねぐひ  
りひけるへ、みくらうよ のあそび ああく これと さふく きる  
ことと うづー。<sup>41</sup> 無す これと あそねきと てとのべ めねよ さも  
りて、こづ こくろよ のあふ、あふぢきふく あれとの くすりづ  
き さづちよ うひやう さりと その ひと きふく あれり。<sup>42</sup> 無す

きびしく いまーめ、めれと さトーめ て いひけるへ、<sup>43</sup> つゝーるを  
あるじと ひとよ つづる あうれ、さゞ ゆきと さりーよ おのれと  
きせのう きよく ありー さめよ もうせの めりせー ところの ものと  
さくげて ひとびと まおふくと あせあと。<sup>44</sup> あうれ さゆ その ひと  
りで、この ことと おわひよ のべりづくよ いひ ひうめーうば  
をす ゆそや あじと まちよ つる ことを えす、さゞ そとの さゆ  
しきと こうよ あくまひづ ひとびと あそう よりめれよ まくねり。

## 第一章

ひと こそ 無す まゝ せばる あうむよ いづりー と せ めれ  
うちよ ありとりひ あふされけれど、めどくちよ やーよ あま  
やどよ ねあくの ひとびと あうまりーづ あす これよ みくとをと  
めくり さまくり。 さて ひとびと ちうきと やまく ものと  
あふふよ めくせと 無きよ つれ まくづりーづ くふづうの さめよ  
めれよ ちうづくこと あくもせりけれど 無きの ります ところの  
やねと とりの ぞきと その ちうきの ひとと ねどこの あくよと  
つりおうせり。 あす めれと あふらうと そと ちうきの ひとよ、  
さづ こよ、あんぢの つと ゆふきねづりと のくまひけれど あふ  
あふやくまち そよ ざー ゆづりーづ こくろよ おゆひけるへ、  
この ひとと あよ ぬゑ めくづりかや。 これ かきと けげすあり。  
かきひとりの わくよ くねり つまと ゆふー うふ。 あす くまと  
ちよ めれと こくろよ のく めんぐくー ことを あんぢうよ まと  
りそりひけるへ、あんぢと あふぞ これと ことと こくろよ わふ

ケアヤ。ちうきのひとよ、あんちのつみゆふきれりとひみ、  
あるひへおきよ、ねどととりあげてあるけとひよことひりぐ  
れりやまき。10 さじふるけふのもきくせうりよおひとつみを  
ゆるきのけんあることをあんぢによもくせんとす、11 つりよ  
ちうきやきよむりひて、これあるぢよつけん、おきよ、あんちの  
ねどととりてねのれのりへよめへれとりひくまくへり。12 さて  
そのひとおきあぐりとひらよねどととりてひとびとのまくよ  
りでしうぐくまおどろきかきをあぐめて、このひとびとまくめうを  
のこのひととくこととまくとりへり。

13 空すまくうづうきよまかてゆきよおあせりのひとびと  
ありありまくりければのれとよとくへくまくへり。14 こくより  
まくみてまくぎととくやくへよあるばいのもきくきびのさま  
くとみて、これよあくぐくとりひければかれまくをあくぐへり。  
15 ときもきて空すきびのりへよせんよつくときまくぎとりと

つみあるもの空すおふびそのでしととくよおあくせり。  
そんかねよおなければあり。16 ぱりまくびとのあふやくまくちよ  
ゑきよあくぐくゆきよめのまくぎとりとつみあるものと  
とくよあくぐくをとみてでしうりよひける、のれくまくぎ  
とりとつみあるものととくよくみのとまくらあよゆゑぞや。  
17 空すくれときとひけり、もくやうあるゆめりりへよ  
ようあー、さくやめうものとようあり。さくまくりへんさく  
ーきゆのとあねくへめよあとす、さくつみあるものとあねく  
へめあり。

18 よはねのでーとぱりまくびとくダくじよしてありけるぐのれよ  
あきよきよりて、よはねのでーとぱりまくのでーとがくじよをくよ  
ああくのでーとあよゆゑよとくじよせざるやとりひければ  
19 空すかねよりひくまくけり、もあむこのとくがちもあ  
もとととくよをるうちダくじよをくこととえくや。もあむこと

とゆよをひうちらへたふじき あることをえず。<sup>20</sup> されどもあむこのれより已くまとのひきそとん、そのときよめれとだふじきちべー。<sup>21</sup> あむかき さむのよ あむとーき かれとぬひくくのものあり。ゆー あらせび その さーく あむとーき かれふみき ものをひきそとその やぶれのへりて あーくあるあり。<sup>22</sup> あく あむかみをしが あくろよ あくとーき ぶだうーゆと いふく ものあり。ゆー あらせび あだうーゆ その めをあくろと もうそきと ぶだうーゆ ゆれりで、ゆー あくろ きくらべー。あくとーき ぶだうーゆ あくとーき あくろよ いふく あり。

<sup>23</sup> そののちあすあんそく みちよ むぎをしきと とありそのでーうち みちをゆくときをつみをじめければ <sup>24</sup> ぱりざいびとあまよりひける、さよのれとあんそく みちよ あむとまことと まわるあよのゑぞ。<sup>25</sup> あす これよ ひくまひける、だびておふひめねと とゆよをりー ゆのどもの うゑて やもとえざりーと とその

あせー こと <sup>26</sup> まあるちだひださりーの とさ あびやたるの こうよ かきのみやよ いりそ くさりーの から くじふ あトヨ そあくの ちふと くじひ、ゆー ともよどる ひとびとゆー あくへー ことと あんぢト いまと あまざる。<sup>27</sup> あーの くまひける、あんそく みちひ ひとの くめよ あうけとれくり、ひと あんそく みちの くめよ あうけとれくりよ あトキ。<sup>28</sup> されば ふんけんの むきそく あんそく みちよ わふと あくと くら あり。

**第三首** あす あく くさりー ひりーよ そよ めくと みれく るひと ありーげ ぱりざいびと あまと うけくへんと と みれ ある そく みちよ こねと いやす いあやと ううじひ ゆくり。<sup>3</sup> さて あす での みれくら ひとよ、みちと あんあうよ きくねと めのト みくひとびとよ の くまひける、あんそく みちよ よがと あまと あーきと あまと、あく いわらと くまくると こうをと いづれを あすべまう。のれと もくねふくり。<sup>5</sup> あす その こうの みぶきを

うれひそりうりめられと まももして その ひとよ、あんぢの てを  
のべよと りひくまひければ れのべよ その てりやきれり。  
<sup>6</sup> ほりさいびと うづるとき うぢよめれよ さうじみへろての とも  
ぐととともに もうり、うらましを るを うらがましとせり。  
・ 無す その でしと ともよ うづうを まで ありぞき まみりよ  
おわくの ひとびと せましより めれよ あくぐへり。 <sup>8</sup> めつゆだや、  
ある三きむ、えどむ、およひ よるだんの むくふ まくつろと おどんの  
やとり より おわせりの ひとびと 無きの おこありー ところの  
ことを まもて めれよ きくれり。 <sup>9</sup> その とき 無す おわせりの  
もの みのれよ くふどうせざる やうよ、こぐまめよ こぶねと そ多く  
おけと その でし まちよ うひ まくへり。 <sup>10</sup> そん 無す おわくの ひと  
びとを いわせー ゆゑよ まづて やまひ ある もの めれよ まもとる  
とて おー せまれば あり。 <sup>11</sup> あけうの あくまも 無きを ミー とき  
その あくよ ひりかー まけびと、ああうか かきの わきと ありと  
りひければ <sup>12</sup> 無す、これと ひとびとよ あくー むる あうれど まび  
くこれと いまーめ まくへり。

<sup>13</sup> つのよ 無す やまよ のがりて その わりきる ところの ものと  
よひければ めれと いきれり。 <sup>14</sup> さて あうよ ふんと こくと まー やと  
あげけ これを おのれと ともよ をトーめ まく そーへと のべ  
つくる まめよ これを つうそー <sup>15</sup> めう あくまと おひ いづきの  
けふるを まげけ まくへり。 <sup>16</sup> その まづめられー あうよ ふん  
べてろと あげけ あもん、 <sup>17</sup> まくせべたいの むきく やこぶと その  
きやうづりの よはね、この あくりん ほあねるげ もあそち めきありの  
こくらと あげけ あ。 <sup>18</sup> まく あんてれ、びとが、むるとろまい、まりたひ、  
とま、あるばいの むきく やこぶ、たざい、めあに ああもん、 <sup>19</sup> およひ  
ゑきを こくまー まう いせかりおての ゆだ あり。

<sup>20</sup> 無す うくよ うりー よめれと あふく まく りとよ あくぐる  
うとよ おわせりの ひとびと ある つどひ まくへり。 <sup>21</sup> 無きの とも

がちこのことをきく、われにきちんぐひありとひひてこれをおき  
くん さめよ まへる。<sup>22</sup> あこ ある さきむ より きくひー あそやく  
さちむ、われべるせぶるを もう、あくまのウートよ よりて あく  
まを おひひだす ありと ひへり。<sup>23</sup> あす われど よび ふとくを  
もいて いひけむ、まくらん ひうで まくらを おひひだす ことを  
えんや。<sup>24</sup> ゆー くよ おのねよ もとりて あともひ こられあば  
その くよ くう づうとす。<sup>25</sup> あさりん おのねよ もとりて あともひ  
こられあば その ひくも くう づうとす。<sup>26</sup> のこの ごとく まくら  
おのねよ むとり こられ あともひ こられあば おのねよ もとりて  
うぎ をまうりよ うくとん。<sup>27</sup> されゆつよ ひとの ひくよ いりを  
あうつよ ひとを あもるよ あとざれば その あもものを うもふ  
こと あもとす。あもりそ のちよ その ひくと うをふ べー。<sup>28</sup> され  
あことよ あふぢよ つけん、モヅの つまと そーる ところの けぐ  
いふ ふるけんの こくらは ゆうきわん。<sup>29</sup> されど きみき みくまと  
けぐす ものれり うまごめ ゆうきう づうとす、めぎりあき つきよ  
あげうとん。<sup>30</sup> めく ひくま、ゑす あけの あくまを もそりと  
のれとの ひひよ よりて あり。

<sup>31</sup> 爰生の まこと きやうび ひきくりて そとよ こちひとと つう  
そーて われを よむ いめり。<sup>32</sup> さて おわせりの もの まもりよ ざー  
みまり 一 げ われよ ひけむ、まよ ああうの まこと きやうび  
そとよ ありて ああうと ひじめと。<sup>33</sup> 爰生 こくくそ の まもり  
けむ、モヅ まこと きやうび ひく まねぞや。<sup>34</sup> つゆよ まもりよ  
ざせる もの ども まもと て、モヅ まこと きやうび と まよ。<sup>35</sup> されよ ても かまの むねを おこあふ むね これ モヅ きやうび  
あり、あまの あり、もく ありと ひひ こまへり。

## 第四章

ゑす まく きづくの わとりよ て せーへ もじめ ければ  
おわせりの ひとつ あつまつー ゆゑよ めれ きづくよ ある  
あねよ のりて ざー まくへり。ひとつ まみ きづくよ そみて

をうちよ をれり。 <sup>2</sup> さて あす くとくを もりて さあざきの ことを  
 ぞしよ。 ぞしよと おれじよ ひけり、 <sup>3</sup> かけよ、 くわね  
 あく もの あく くめよ ひけり。 <sup>4</sup> あく ときよ あくりて あら  
 くねり みちむくよ おちしげとり かくりて これを つりをめり。  
<sup>5</sup> ある くねり つち ちくあき ひーぢよ おちしげ つち あくとくび  
 るよ よの そ くらぢよ おきりでり。 <sup>6</sup> されど ひの のがる とき  
 やうれーうべ ね あま ゆゑよ めれり。 <sup>7</sup> ある くねり ひの と  
 あうよ おうしげ ひそかち これと あきぎ ければ 三と むき  
 もぎりき。 <sup>8</sup> わうの くねり おき ちよ おちしげ もあひで そびる  
 りそ くねり おき、 おくドウ おのまく ひやく そいの 三と むき  
 ぶより くねり。 <sup>9</sup> ある おれじよ ひけり、 きくめら 三と ある  
 めのひ きく べー。

<sup>10</sup> ひとびとの きく べー と あせの くわく ある ゆの おふび  
 あうの でー この くとくの ことと とひーうべ <sup>11</sup> あす こくら

けり、 あんぢく かみのみくよの おくがを あくせ くまをもる。  
 されど わうの ゆの くとくを ゆりて くねりの ことと あめ  
 くら。 <sup>12</sup> そり、 おれじよ くくうと あくめ つみを ゆくがる  
 やうよ くら と く みを くす、 きくと く あく くねり くねり  
 よりて あり。

<sup>13</sup> ある おれじよ の くまひ けり、 あんぢよ この くとくを あく  
 せり。 さくび ひくよ そく くねりの くとくを あくんや。 <sup>14</sup> くね  
 あく もの ことと あく あり。 <sup>15</sup> みちむくよ あかくら ゆのひ これ  
 あり、 ことと あく ひとびとの くくと く くらぢよ くさん きく  
 りそ その うちよ あくねり ことと うをひ とる。 <sup>16</sup> ひーぢよ  
 あく、 <sup>17</sup> されど おのれの うちよ ね あかよ よりて くらぢよ あくとく  
 くねり の そ。 の ち ことと の くめよ あやと あくひ せめ くねり  
 ことの おとる と く くらぢよ つまびく ゆの あり。 <sup>18</sup> いもとの

あらよ あかへる ゆめへ これ ことを さげども <sup>19</sup> この よの さげ  
うひと くわぐとの あふひと ゆめごとの よく ひりへ ことを あさ  
ぎを みのと ざる ゆの あり。 <sup>20</sup> よく ちよ あかへる ゆめへ ことを  
きく これと うけて さへじう むし、 ろくじう むし、 ひゑく がの  
みを むせぶ ゆの あり。

<sup>21</sup> あく あす われよ。 ひけら、 とめ一びと さかへびの  
うくよ おうぢと まきの あく あるひへ ねづひの あくよ おうる  
とを これと ゆめ さかへる ゆの あとふや。 <sup>22</sup> あくは さる ゆめへ あき  
とうよ あと ざる こと あー、 あくつまへる ゆめへ あと せねざる  
こと あー。 <sup>23</sup> さかへゆる みく ある ゆの あと べ。 <sup>4</sup> あく  
われと よひける、 さくと くちの ことと つま一めよ。 あんぢたれ  
りうある そうちと ゆめと さうる、 その そうちと ゆめと あんぢたれ  
もあんぢれ、 やう あんぢたれよ あや くもへる べ。 <sup>25</sup> それ ゆめく  
もの うい あや あくへくれん、 ゆめ ざる ゆの うい ゆの  
を ゆ と く る べ。

<sup>26</sup> あく あす ひけら、 かきの あうりととひ ひと さねと ちよ  
あくへ じとー。 <sup>27</sup> あく ひる あー あま きる うらよ くね あめりくく  
そくと そくの その あうる ゆめと あとふ。 <sup>28</sup> ちく おめくうと みと  
もあくふ。 きくめよ あく、 つきよ や、 のち やよ こゑへる こくと  
もあくふ。 <sup>29</sup> み あゆく あわべ あらひのれと うくふよ よのと あくへ  
の あくと うくふ あり。

<sup>30</sup> あくひりひけら、 ひけら かきの あうりごとと あふく あだくへ、  
あくひりひる あく とくとくと もりて これと くわぐんや。 <sup>31</sup> ひとー びの  
ひとつぶの びとー。 これと ちよ あく とくへ ちの もぐとの くね  
おり ちひきよ ゆの あねども <sup>32</sup> まけび そくちと まぐびの やまひ  
おり わねまくへ あり うそくの とり その ゆけよ まく わどの  
ねあひ ある えびと うがす あり。 <sup>33</sup> あす ゆくの びとー せぬまく

あのふとくとものもれを めれとくがまへうるだけこれよ みことを  
のまうりますく。 35 ふとくとあとぎれがめれとよ めまくざりき。  
のちでーとあひまくして そるとき こわよ せぐとのことをとき  
あうせり。

35 そのひの ゆうらくよありて あを でーよ のまく けく、  
36 つりよ おあせりをめく  
されと もうふの きーよ。 37 さと おあひ ある あと おこり あ  
じーめて あきの あねよ ある あと めれと つれゆけり。 38 まく やうの  
あねも ともよ ありき。 37 さて おあひ ある あとー おこり あ  
あねよ うちとまを あね わとんど みちむり。 38 その とま あす  
あねの とまの ゆうよ あくべーと いねくりよ でーくち めれを  
おこして、せふせりよ、 39 さて あすおまを めせを いあーめ めら うまよ、  
うとりく。 39 さて あすおまを めせを いあーめ めら うまよ、  
あらされ おざやうよ あれと ひひ けれに めせ やまを いと おざや  
うよ あり。 40 あす めれとよりひ けく、 あんぢト あんぞのく

おそくまう。 あふうう あまへ あんぞや。 わめれと あまぞと おを  
れて まぐのよ ひ けく、 めせと うまく めれよ あくぐふ。 これ  
りうある ひとぞや。

## 第五章

4 わめれと まくづくの もうふの きーよ こくり けらせびとの ちよ  
つきと こゑす あね より あぐる とき こくづくよ あけうの あくよよ  
とりううれくる もの もうの あら より ひで し めれよ あくべり。  
3 このひと もうの あうと きくと あせー もの あく くくと  
のりて きく われと つあぎ うる もの あー。 4 われへ あを ば  
あー げせと くくと あく もれと つあぎ うれども くくと ねぢ まく  
りき。 5 よる ひる つねよ まく や まよ あり て さけ ひめりー  
ゆめと おのれを まく うけり。 6 この ひと とあく より あま  
まくづく もく り きくと これ そりー おあざゑよ おを くりそ  
りひ けふく、 7 もの とま まく まく かまの むまく あをよ、 これ あま

さとあよのやうよりあじるや。されかきのあよよりてああくよ  
ねぐふ、されどくふーむるあうれ。<sup>8</sup> これあすがまよ、あけりの  
あくよこのひとよりひでよとひしよよりてあり。<sup>9</sup> あす  
のれよ、あんちのあんあふととひければこくへとりひければ  
已うあいよううう、それされどおなせりあるよよ前にてあり。<sup>10</sup>  
ゆれあきりよあせよねぐふを、このともよりされどおひ  
りづすことあうれどりへり。<sup>11</sup> さてやまのあくよあくの  
おわひあるもれくらひゑうりへり。<sup>12</sup> あくよどもあまよねぐふを、  
されどあくよあくりをそのあくよりとひければ  
あすこれとゆうせり。<sup>13</sup> つらよあけりのあくよりでくぶくの  
あくよりうさればおふそすせんびきのむれくらうとまでがけを  
もげしくかけくらりてうみのあくよおがれあよより。<sup>14</sup> あくと  
ゆふゆめどもすげてこのこととあちやうりあくよりひあく  
ければひとつそのありーことをうなめよりで。<sup>15</sup> あまよ

きうりうきよようううあるあくよとくううれうるひとのきう  
のとく、うしらあるこうううとさーきうとくをおなれく。<sup>16</sup>  
これとくのものどもあくよとくつうれうるひとよあり  
こととあくのこととひひひろめければ。<sup>17</sup> ひとつとあくよその  
さうひをうらることとねぐひことあり。

あすあねよのとくとくとあくよとくううれうり  
のめれととくよとくれことをねぐへり。<sup>18</sup> されどあすゆ  
きうしてゆれよりひくまひければ、あんちのうくよめへりある  
ちのあんぞくよゆきをかきのあんぢよあくよううりうよおわひ  
あることおよびあんぢをあわねくこととゆれよつけよ。<sup>19</sup>  
つづよのれりで、あまのねのねよおとありーおわひあることを  
でせほまよおのとくひあうければひとつとくあこれをあや  
しめり。

あすあくあねよとくうのきうよくまひくうのうと  
くめり。

りよゐなまひーときねあせりのひとびとめれのもとよあうなり  
きくれり。<sup>22</sup> さて くらひどすのつうきのひとりやいろとりへる  
もの きくり あもと そそ その あーゆとよ ひれかー ひくをとよ  
ねぐかそりひけふれ、<sup>23</sup> ひづをきあきむきめわとふとあきふとす。  
ひれが ひそそ ひきら やうよ ああ さくらりて てそ その うへよ  
おきくあくと。<sup>24</sup> あすめれと ともよ ゆきーが ねあくのひとびと  
めれよ あくゲひそくふとすせり。

<sup>25</sup> ときよ おうよ ねえ あぐらを ひづとくらをふる あり。この  
をん おあくの いー よ そあそぶ くふーめられ <sup>26</sup> のう その  
あんがりと ことどどく つりやせども あんの えぎめ あく みくにそ  
あーく ありー<sup>27</sup> あきの ことを きく くふーうの あく おりめれの  
うーうよ きくりそ その きくめよ さくらりうり。<sup>28</sup> これ、その きく  
めよ さくらることを えびりやがる べーと ひづとひくわば  
あり。<sup>29</sup> くらどくうよ ちの ひづる こと とおりそ さん あ その

やあひ よりひきー ことを ひづと おがくり。<sup>30</sup> くづらよ あす  
ちうとの おのれ よりひでー ことを ひづうと さとり おあせりよ  
ありひきて、<sup>31</sup> ひづきゅのよ さとりー めのれ されぞや とりひくま  
んり。 でーうち めれよ ひけふれ、<sup>32</sup> おあせりの ああよ わー<sup>33</sup>  
あふを そそ、 されよ さとりー めのれ されぞや とりひくまふ。  
あす これと あーくら さんあと さんと そあそー ければ <sup>33</sup> そん  
あおのれよ あーー ことと あり、 おそれ おのとぎそ きくり そん  
まくよ ひれふーと ことどどく ありの あよ つけふり。<sup>34</sup> あす  
めれよ ひけふー、 むちめよ、 あんぢの やあひ ひゆう ことと えん。  
せり・ やあんドそ ゆけ、 あんぢの やあひ ひゆう ことと えん。  
あり ある ひと きくり きる とき くらひどすの つうきの うち  
あふを あよ あー やうと ひづト さくら。 <sup>36</sup> あす その つづると  
うのことと きくと くらひどすの つうきよ ひけふれ、 おそく

あられ、ふと あんせよ。<sup>37</sup> さて あす べと やこぶと やこぶの  
きやうぐりよはねの わうれ さわらぬと ゆきのくことを ゆうぢよ、  
くきのどうの つうきの ひくよ づくらりて さわきと づくらりて あけれ  
ゆあしぜ キの どもと さわすよ。<sup>38</sup> あす うちよ づくらりて あれくよ、  
あるぞ なまき あけくや。むきめん あせくよ あとす、さとひねる  
ありと ひひ けれど ひとびと われを あきよとくり。<sup>39</sup> さて あす  
そびのひとびとを ひひ て むきめの ちと そと おみび おれと  
ともよ さくらり めのを ひひ つれて むきめの そと そろよ いり  
むきめの てと とりそ、たまたくみと ひひ さまくり。<sup>40</sup> かれを  
とけぐ、むきめよ、され あるがよ おまよと いふの いと あり。<sup>41</sup>  
あすよ さりよ あらそむ むきめ さくらよ おまよ あらそく けれど  
のれと ねうひよ おどろき あや一 まくり。<sup>42</sup> あす この ことと さわ  
るも あと一 もる あられと きびく われと つましめ わの むき  
めよ あふく ゆうと あくまと あらド さまくり。

## 第三章

あすそとを せりて おれの あふきと まくらり けれど その  
で 一 まちよ これよ あふくへり。あるそく まちよ ありて あす  
くきの どうよ おりて そへ そとめ 一 よ おあくの ひとびと これを  
さく わどうせそりひ けれど、この ひとひくより その ことを  
うるや。われよ せじけとれ 一 ちゑと その てまそ あーくら めうの  
さとせ あーぎ ある さざれ あるぞや。<sup>4</sup> これら まりあの むきくよ  
して やこが、よせか、ゆだ、あもんの きやうぐり ある さくよ あとぞや。  
その を ああきやうぐりよ こくよ かれと とゆよ さくよ あとぞや。  
めうの ごとく ひとびと われよ つまびき けれど あす われとよ  
りひけぐれ、よけぐれ わの ああきと ああきと おれの  
りくの わうよ おりて まのと まわざること あー。そくまで あす  
やめる もの まよみよ とつけ これと りやせ 一 あらふーき ある  
ときと あー あらそく れ。われとの ああせぎよ あや一 めり。  
つりよ あもうの まよもと あめぐりて そへ さまくり。

とすあうものでしとよびてわれとありづつらもさん  
としとされよあけりのあくまをおひいじきのちうとをさげ、  
ゆうめれとよめりとける、さびのようのよつゑのがんの  
わうんあふくまくもさびあくもおひよのねをもあふむから  
づうトキ、さべざうりとそけ、こうもすましとさるあうれと。  
<sup>8</sup>  
あくめれとよのくまひける、りづくよくもりくよ  
そのとくろとさるあがいそのうちよとざまれ。<sup>10</sup> りづくよくも  
あんぢととうけずあるひんあんぢとさうあんぢとさう  
ときあーのあくのちりとそじかそそのあふうとせぐ。  
<sup>11</sup>  
さてめれとりでひとびとのくひあくまべくこととりひ  
ひろめ、<sup>12</sup> おうくのあくまをねひりがーからおあくのやめら  
のよあふとつけとされとりやせり。  
<sup>13</sup>  
ゑ生のあひろよりければへろてさうされとさうと、りひ  
けく、あぐめひとよはねあよりよみぐへりーあぶん、ゆゑよ  
わあひあらちうとめれよよりともうとけるありと。<sup>15</sup> あらひと

これとえりやありとりひ、あるひとつよけん一やのひとりの  
こときよけん一やありとりへり。<sup>16</sup> されどへろてこれとさうと  
りひけん、これさげくびきるとくろのよはね、めれいきぐへり  
さうありと。<sup>17</sup> へろてめうとおのれのきやうだいびとがのつま  
へろてやのくめよみぐうとひととつりそーよはねをとくへとされ  
らうやよつあきーことあり。それへろてめのさくあとめとりよ  
18 よはねめれよ、あんぢきやうだいのつまとめとくへさじーうと  
せとひひーよよりとあり。<sup>19</sup> このゆあよへろてやよはねをうとくそ  
これとこうきんとうのまわとくへきり。それへろてよはねの  
さじーきゆうめひとあることをありおそれてされとまも  
れべあり。あくそのことをとまくとおあひよううくへめのくわ  
ふをのれとまくことをせり。

<sup>21</sup> のくとへろておのれのくふとやうびよがりーん、さうのくらうや  
おあひがまくじかくまとひとびとよあくまひとあせらそり  
よまひつまりけりべ<sup>22</sup> へろてやのむまめそくよまくへめのくわ

へかでねよびとゆよせんよつけり。ひとびとぞよろこむ。さて  
 23 さうそのをためよりひけり、あらうのをめあるぢの わのまう  
 ところのものをねぐへ、されこれとあらぢよあるへん。<sup>23</sup> ある  
 めれよちうかてりひけり、あようじもあらぢのねぐふところ  
 24 さうくよのあらきよりくよる。されこれとあらぢよあるへんと。<sup>24</sup>  
 むまめりぢくそのえくま、されあるとねぐふづまやとりひ  
 ければえくこれよ、あらめびとよはねのくびとりへり。<sup>25</sup> むまめ  
 くどうまうりそき 25 さうのあくよきくりてねぐひりひけり、  
 あらめびとよはねのくびとがくよのせをまきやうよされよくま  
 さんことをわいせと。<sup>26</sup> さうまみどうれふ、されどちうひの  
 くめおよびめれととゆよせせるひとびとのくめよられとくをむ  
 ことわいせす。<sup>27</sup> さうつのよけのどのものとつうをとよはね  
 のくびともちまきくねとめのとけられぬまきをうやよおりて  
 そのくびをきり。<sup>28</sup> これとがくよのせゆちきくりてもまめよ  
 あくへり。むまめにされとそのえくよあくへり。<sup>29</sup> よはねの

で一うちこのことをきくをめり、そのあうをねととりてされを  
 もうよおきめり。

30 さておーやはうちあまの むとよあつまりとめれとがおこあひー  
 ところ、そーへーところのことをこととこととくつけられべ。<sup>31</sup> 無す  
 めれトヨリひけり、あらぢとさむーきとくよありぞまて  
 あよくするよりとよあよぎれべあり。<sup>32</sup> めれトヒモトヨアネ  
 のりとさむーきとくよゆくとよ。<sup>33</sup> ひとびとそのゆくとみて  
 おあくのゆのめれとありあらまちありめらよとゆよもすり  
 めれトヨサキがらとそのところよりくわり。<sup>34</sup>

34 無すひづるときおあくのひととみてそのゆゆーあま  
 ひづのととくあるよよりこれとあもれみておあくのことを  
 さくへさまふ。<sup>35</sup> とまうつりひくれけれべでーまち 無すよ  
 かくりてりひけり、こくへさむーきところあり、とすゆちや  
 おきー。<sup>36</sup> ひとつひととくへーまそりのひあうとむよゆきて

あるくあつとのもとめくまく。 37 あすこくく、あんぢトのれト  
よあよくあつとあくふとのくまひければでーくちりひければ、  
かれト ゆきと せんすひやく だけの あよくあつを めひ これと  
のれト あくふと くまもとめんや。 38 あす のくまひければ、  
ちるを あくふと づくり。 39 あす すぐとのひとと くまぐまふと  
あくふの うへよ まきまきふと めりつければ 40 のれトひやく  
あんづく あく じじうよんづく あとひざせり。 41 さと あすそ  
のりうとの ちんと あくの さうあと とりと ちんと あかぎ あやーと  
ちんと せり これと ひとびとの まくよ おく くめよ でーくちよ  
あくふ。 42 あく あくの さうあと ひとどとよ 可け あくへーぐ  
のれト まか まよくーと あけり。 43 わの のこり くじと おうよ  
さくと あまりの さうあと ひろく。 44 その ちんと あよくせり  
のん させん まん あり。

45 つりよあす おわせりと あくまんとーと その でーくちよ あひて

あねまのを おのれより さきよ むらみの きーべときだん こく  
一あり。 46 われん ひとつと あくーと のちりゆる くめよ やまよ  
ゆけり。 47 ゆくらすよ ありと あね くじうみの まんあうよ あり  
とき あす ひとり さうよ ふくまひーぐ 48 わせ さうト あゆゑよ  
でーくちの あねを こくよ あゆゑくよと 三と よの あこのす ごうくじ  
うきを あゆゑ あくーと のれト と あり すぎんと せり。 49 のれト  
あすの きじうきと あくーと きと おもひと せり。 50 のれト  
さけひ づかせり。 そん まき これと きと へんげゆの あとふと おもひと  
あすの きじうきと あくーと きと おもひ されば あり。 51  
おそる あくわと つひくまく。 51 つりよ われとののり ふくら  
あねよ のがりーよ かせ おじまり けれど かれと こくちの うちよ  
まくよ おどろきまく。 52 これ その こくちの まくーと ちんの  
ことと まとと せり。

53 われト すゞよ こくり けねまの ちより そくよ あ  
ぐりせり。 54 さて われト あねより あぐるとき まくちよ ひと

ひとをすとありてあまねくその やとりとそーり、<sup>55</sup> かわのきる  
ところを まとも やめむ ゆのと わどとの まゝ わか せんれり。  
<sup>56</sup> ひづくよしも あす むくや あら あるひへりあくよ ひる とき  
ひとびと びやうよしと ひちもよ おきて その まゆめと すそよ  
さもとん ことと ねうひーぐ せんりへる さけの ゆのへ まみ  
りやせられり。

## 第三章

ぱりせひと あるやうの ある もの ある さをむより せり  
りと あすの ゆとよ あつあり、<sup>3</sup> そのでーの ある ゆのぐ せんれり  
せらで すあもち あともぎる てよそ もふと あまくすみと まみり。  
<sup>3</sup> けざー ぱりせひと すべとの ゆだや びとへ ことの ひづく  
くを あめりつゝーんで てと あじくよ あじぎれぐ くとをす。 あ  
のち より かくる ときへ まくよ じとぎれぐ くとをす。 この やう  
せん、あぐ、あんぢうの うつもと もうぎる あど せなまのりひ  
りくと うけと これと まもれり。 さて ぱりせひと ある  
やくじゆの あまよ とくそりひけり、 あんぞ あまの でーへらひ

ことのりひづくよ あまぐをせーと せんれいとせらる てよそ はる  
と くじくや。 あす こづくと ひひけり、 あらやん きせんしや  
ある あんぢうの ことと よく よけんしと、 この くまく くちびる  
きと うれと うやまく、 されど その こづくに これ より とあざる。  
<sup>7</sup> さと ひとの ひましもと とくと そーへとーと ひづくよ これと  
をぐもと あまやり。 あく あんぢく かまの ひま一めと そくと  
ひとの ひひづくと まもる。 あく せれどよ ひひけり、 より  
のま、 あんぢく おのれの ひひづくと まもる まめよ かまの ひま  
一めと せらり。 <sup>10</sup> そる もうせりひけり、 あんぢの ちと まもと  
うやまく、 あく ちと あむひへ まもと の まじら ゆのへ のあと  
こうまく べーと。 <sup>11</sup> されど あんぢく ひふ、 ひと まーそ の ちと  
まよ むのひ、 あるまく も されおり あるまよ ようがつる ゆのへ  
となるばん まもと まもくの ありと ひそと <sup>12</sup> あんぢと もそや  
その ちと まよ つづくことと これよ ゆるがす。 <sup>13</sup> これ あん  
ちと うづく りひづくよ よりと かまの ことをと わあしよ

あります。まことにこのことをおこなふ。

14 無す ある おろせりを よびて めねどよ のへまひけく、 ある  
ぢと 三と ござ ことむを きくと なとれ。 15 ひとの そと ありりる  
ものへ ひとつ けぐす こと あるをす、 ひとの うち より いぐる  
ものへ これ ひとつ けぐす あり。 [16 かくゆる 三と ある ものへ きく  
べー。]

17 空手おもせりとまわれてりへよりりーとてでしとむその  
ごとのことをとりへうべ 18 空手これよいひけり、あるぢ  
ともやくのじとくがとじせざる。あるぢをゆそとよりひとよ  
りる ゆめんひととけげーえざることと 無とせざる。 19 そん  
そとよりりる ゆめんひとの こゝろよりとす、ハゲモトヨリる、  
ゆめんきびとくとくとくろの ゆめとせよむむの ゆめよおつる  
あり。 20 あるりひとくよひけざり、ひとのうちよりりげる ゆめ  
これひとつをけぐすあり。 21 そんひとのうち まももちくろ  
よりりげる ゆめんあーきおゆり、みのりう、ゆめき、ひととぞう、

22 わふのえ、むさり、よどーは、あざむき、りふとん、ねくそ、  
そーり、さうぶり、おろりあとあり。23 これとのあさまことわ  
らをうちよりひぐひととけがすあり。

りりてひとよあらむことをやれせず、それとのふれえざります。  
25 めくをあけりのあくまよとりうちれゝとまゐむもめりとゆくら  
をふゑあきのこととまくさくりてそのあーもとよひれあせり。  
26 このどゑあいせうかにけよおひてむまれるさりああのひと  
あり。めれゑまよそのむきめよりあくまとおひりざくらことと  
ねぐひしらべ 27 無すこれよりひける、あげこどもよあきさくす  
べ。こどものあふくわうととりそりぬよあけあくふるんより  
トキ。 28 をふゑこくへて、あうりきさよ、されどざうのあくの  
りぬもこどものさびくげとあふくまとりくり。 29 無すめれよ  
りひくまひけむ、このことをよけをめくれ・あくまわあんぢの  
むきめよりりぞくり。 30 さてをふゑそのりくよめくり一ヶむき

りのねどもよあー やうとあさまの もじよりぢるをと みへり。  
31 無す ある つらの わとりと さりて おどんと とあり でかほまの  
あうと つて せまらひの そづうきより ふれり。 32 その とき ひとびと  
つるがうへと どくろ ものを あまよ つれき くわりと こねよ てとつけ  
くまさん ことと ねぐひ けれど 33 無す おちせりを もあれ これを  
已きよ つれゆきと その みよ ゆびと いれ ある つをまへと その  
あよ さそり 34 てふと あくびと さんと いれよ むうひと えりせた  
をあそちひとけふと いひ くまへり。 35 くどうよ その みよ ひとけ  
ゆう あくの きぢ ゆゑを そけたりと ものひへり。 36 無を いれ  
トと いもしめと ひとよ つぐる あうれと めひ す。 されど いもー もる  
やど まあす これ と いひ あくせり。 37 ある まあす おどろきと  
いひけふれ、 この ひとの おどろく と うろ えま よー。 つるがを  
まくわる やうよ ある ねくと ものひよ やうよ あせりと。  
ありけれど あす でー どもと ょひて ひけふれ、 これ その お

さんよりのあさーとゆどめをあじりそじめり。<sup>12</sup> あすことうの  
うちよあらくまふどそりひけり、このあざりのひとへあんぞ  
あるとゆどけり。されまことよあんぢとよつけん、あまくへ  
このあざりのひとつよあんぐれど。<sup>13</sup> つゆめれどとまあれ  
まくあねよのりそむくかのきしよヨリヤリマナヘリ。

<sup>14</sup> でーうちばふととり已もれそあねのあよさびひとりの  
ばんあるのミ。<sup>15</sup> あすめれどとひまーめそりひけり、つ  
しんをセリシイヒとのはんぢねとへてのばふぢねとあせば。  
<sup>16</sup> めれどさうりよろふどそ、これ已もとづばふとゆまざるゆゑ  
あとみとりへり。<sup>17</sup> あすこれとありてめれどよりひけり、  
あんぞばふとゆまざることとろふすゆ。あんぢとひまどあト  
きより、ひまどおととくざら。あんぢのこころわがまう。<sup>18</sup> め  
ありても三くせ、まくありてもまくへぞ、まくおがくざらう。  
<sup>19</sup> これりうのばふとせんふよ已けあくらーときあんぢと  
そのううをさうりよほいひうりーや。こくらと、あうるとりへり。

<sup>20</sup> まくあせんあなよあくつのばふをこうちらーときあんぢと  
ううをさうりよほいひうりーやととひけりばのれどあくと  
りへり。<sup>21</sup> あすめれどよりひけり、あうとばあんぢのまと  
ぎくわあんぞや。

<sup>22</sup> めれどベリシいたよりくりーときひとびとめくとをあすよ  
つれきくりてこれまでをつけまもんことをねぐふ。<sup>23</sup> さて  
あすめくとのととりもとのそとよつれゆきそめゆよつを  
キーメれよてをつけて、あうら三ゆうやととひけりば  
りをあけてりひけり、これひとつとま、そんこれこれを  
みるよきのあるうげごとく。<sup>24</sup> あすあくとびそのめよてを  
つけければめくとみることをえ、ひそそをもべそのものあきと  
うよみくまり。<sup>25</sup> つゆあすめれをそのりくよめくとそひ  
けり、むとよつるあられ、「まくもとのひとつもつぐるあられ。」<sup>26</sup>  
<sup>27</sup> あすそのでーうちととよまいざりあびとびのむとむとよ  
ゆくときとちうよとくそりひけり、ひとつとひけり

されどつらう。<sup>28</sup> めねとこまへけり、あづめひとよはねありと、

あるひとえりやありと、あるひとへあけふーやのひとりありと、<sup>29</sup>

りふ。あるまことひけり、されどあんぢてんられをされと、<sup>30</sup>

りふ。べろこまへそひけり、ああまくさりあとあり。<sup>31</sup> さて

あすおのれのことをひとよつけざるやうめねと、のす一め

さす。おのれのことをひとよつけざるやうめねと、のす一め

### 第九章

おのれのりめちとこまへかとわりあるものへされとう一あもん。

されどこまへさめあるさりそりのねとぐれのさめよりめちとう一

あすおのれこれとモモモん。<sup>36</sup> ひとゆーせうりぢうとえとその

りめちとう一あもんのえきあとう。 <sup>37</sup> あるひととそのりめ

ちのめもりとーてあるとあくへんや。 <sup>38</sup> されあてもこのめんのえ

きもつまへうきあざりとおりとされとこまへこまへとととととと

ものへかんげんのむきともきとまへつうひまちととよその

ちのえのううよおのてきまへととそのゆのをもげべー。

つけん、こまよまうひとのうちよかこのまうりひととゲりうと

もりてきまへとまうまでものあぢもひとうけざるものあり。

むりうすぎとあすべてろ、やこが、よはねととゆあひひきよ

のれととまうきやまよつねのがりとめねとのまくよそのすうよ

のそれり。 <sup>3</sup> そのこうものじやまもあもとあらへてせうりの

ゆのさトーのくあうくへあーえぎるわとあり。 <sup>4</sup> とまよえりや

もうせととゆよめれとよあともれをゑすとゆきりをれり。べてろ  
ゑすよめりてりみけむ、まくまよ、されとこくよをくへよ。  
されとそのらやをつくりてひとつへああるのくめ、ひとつへ  
くめのくめ、ひとつへえりやのくめよもべー。これめれとも  
そよおそれてべてろあまとめくらベキやとあとぎりーあり。  
べてろくわめれとおわひめりくわよりこゑありて、これ  
くわあじきるむすとあり。あんぢとめれよまけよとりぐり。  
めれとくちまちまほとーくわよくわゑすとおのれどものやう  
されもまくぎり。

やはよりくびるときゑすめれとよ、するけゐのむすこの  
あよりりきぐくらあぐんあんぢとのミーことをくれよもつぐる  
あうれとめりとくさみけよ<sup>10</sup>でーくちそのことをとありますて、  
あよりりきぐくらとくあなどとぞくとくくひよろんじあぐり。  
めれとゑすよとくとくみけむ、えきやんまきよまくら  
べーとくみやくどものりくらるあるぞや。<sup>12</sup>ゑすのくすひけむ、

あことよえきやんまきよまくらりめりすべちのこととあじくむ  
べきあり。あくふんけんのむすよつりくわめれさあざすの  
くわーくとうけめりくわーめくわとあくまくわーへあよごと  
くわ。されくわとあんぢとよつけん、えきやんもくじよまくわり、  
くわとあーじぐり。

めれとでーくちのとくとくみけよおわこのひとびとの  
めれととくめふとあよやくどものくわとろふとくわとと  
くわ。おわせりのひとびとくわくわゑすとみておわひよ  
とくとくみけよ、あんぢとくわとあよとろふむすや。<sup>16</sup>おわ  
せりのうちのひとりくわくわとあよとろふむすや。<sup>17</sup>おわ  
あるあくよとくわくわくわむすとあよとつねきく  
れり。<sup>18</sup>りくわくわゑすとあくよめれよとくわくわめれをひきうけを  
あもとふきもとくわーきりてやまうあり。これああるのでーよ

これをおひりづすることをねぐひーうどゆ めれど あくをきり。<sup>19</sup>  
<sup>20</sup> あすこくそめれどよりひけむ、あく あくらう あき あざい  
 める。これりうちもあくちととくよ きくらや。りうちも あく  
 ちとをあくらや。めれを まわよ つれ まくられ。<sup>21</sup> さて めれを  
 つれ まくられよ あくちとくちとくとくよ きくらや。りうちもを  
 ひきうけーり ちよ まわれ こうぐりて あくと あくらり。<sup>22</sup> あす  
 そのちとよ とひけむ、りくあり あく あくらや。ちくひひけむ、  
 ひとけあき とき あり あり。<sup>23</sup> あをーを ものあり、  
 あひひれをめれをやうがきふとせり。されど あく あー あす  
 こと あくもど あれど あそれと まけ まへ。<sup>24</sup> あすめれよ  
 りひけむ、ゆー あくもどとひけむ あんぞや。あくちる ゆのよ  
 ねりて あー あくもぎること あー。<sup>25</sup> その こどものちく まくら  
 さけふをひけむ、これあくす、こぐあくらうの まくらぎふを  
 さしき あくまん。<sup>26</sup> あすひとびとの もーり あくまくと うて ふけ  
 うの あくまと とげめりひけむ、ねかーふーをつんが ある あく  
 まよ、これ あんぢよ めりゆ、これ あり ひぐく あくもびりよ  
 こと あくれ。<sup>27</sup> さて あくま さけび まくく めれをひきうけを  
 りで ければ ひとびとの、めれん あせりと ひく わどよ あくま  
 めの ごとくよ あれり。<sup>28</sup> されど あす その てととりと ねく  
 ければ めれまちあぐれり。<sup>29</sup> あす ひくよりりよ その でーも  
 ひきうよ とひけむ、これとく あくまとおひりづること あく  
 まきりーへ あよ ゆゑぞや。あくまとおひりづること あく  
 さくひひりのり〔と ざふとま〕よ あトぎれば おひ ひづす こと  
 あくをす。<sup>30</sup> めれと まくを まくと がまら いと とある とき あす  
 ひとの これを あら ことを まくせざりま。<sup>31</sup> こく その でーも  
 まくと、まくけふの もまくひとびとの てよ まく まく これと  
 こくまく あく、こくまく まくの ち まくらめよ ひきうくる べーと ひ  
 まく おそれて めれよ とふ ことを せざりま。

<sup>32</sup> のれト めるあうむよ ひくと ひくよ とく とく あす で

○まるこざい九夜やう 9

百八十五

どもよ、あらがうと どちらよを あるとろんせー やと とひー よ みれト  
ダより こり。 <sup>34</sup> そん どちらよを、これらおろひある ゆの あらん  
やと こぐひよ あとそひ されば あり。 <sup>35</sup> あすざーと あうよの でーと  
よびやれとよ いひけむ、 これよしゆ のーと こちむと ういする  
ゆめくもぐとの ゆめくを 無と あり、 キヅとの ゆめくを もぐと あとえ。  
あくねうあごととりやれとの あうよおきこれ ひづかと うれとよ  
りひける、 うねうを も こげあよおりそ やくの ごときおきあごの  
ひとりと うくら ゆめくこれ うくら あり。 <sup>37</sup> あく これと うくら  
ゆめくこれの あくす これ つうを めー ゆめく うくら あり。  
よはねゑすよ やくりと いひ けむ、 せんせりよ、 うれとよ  
あくぐを ぎる ゆめく ああこの あと ゆめく あくすと おひ いづすと  
已れト こくり。 されど うれとよ あくぐを ぎる ゆめく ある ゆゑよ  
これ きんせり。 <sup>39</sup> あす いひけむ、 きんする あられ。 いろふと  
あれば うれ あよよけ あー ぎある こぎと おこうきよ ゆめくの うぐち  
くわれを そーる こと あらま。 <sup>40</sup> これとよ なうじと うぐち ゆめく

されどよつけもあり。41 これまたとよあんぢとよつけえ、され  
あてもあんぢとよきりもとよつく ものとーと さう あよよりそ  
りのばかりの さうを あんぢとよ のまもる ものへ その むくひを  
う一あもド。42 されあても これと あんぢら これとの ちひき  
ゆめ ひとりを つまぐらせる ゆめん ひまうきの うそりーと その  
くびよ わけと うみの あうよあけいれじるくこと ことを その ひとよ  
ふうるべー。43 ゆー あんぢの て あんぢと つまぐらせ これと  
きり もとよ。44 りやうと ありそ ぢどくの まくぎら もよりる より  
ゆきあて りめらよ りまく あんぢよ ようとん。45 ゆー あんぢの  
あー あんぢと つまぐらせ これと きり もとよ。46 りやうあー  
ありそ ぢどくの まくぎら もよあけいれじるく より あー もくあそ  
りのちよりまく あんぢよ ようとん。47 まく あんぢの め あんぢと  
つまぐらせ これと ぬき じよせ。48 りやうめ ありそ うじゆ おせす  
もも まくぎら これと うの ぢどくよ あけいれじるく より めくめあそ  
かきの みくよーりまく あんぢよ ようるべー。そん、まぐわ

ひとりあやつけとくも ごとくもとつけられん。〔まぐとのそめん  
ゆめんあわを ゆりて あやせられん。〕<sup>50</sup> あわん よき ものあり、  
されど あやその あぢもひとうーあまば あらと ゆりて これよ  
あぢと つけひや。 あんぢと ことうよ あわを さめらと さげひよ  
やもときをるべ。

**第二章** あす そこより へちて よるだんの むらかよ ゆき ゆだやの  
やとりより さりより ひとびと あく われよ あらおり けねば つねの  
じとく これよ きへ くまへり。

<sup>2</sup> せり 三いひと きくさり あむと こもうきと これよ とひ けふり、  
ひと その つむと いづまん おまくよ のあわや。<sup>3</sup> あす こまくと  
いづまん、 もうせん あんぢとよ あよと めりせー や。<sup>4</sup> われと  
いづまん、 もうせん あんぢとよ あよと めりせー や。<sup>5</sup> われと  
いづまん、 もうせん あんぢとよ あよと めりせー や。<sup>6</sup> されど  
ゆるせり。 あもりひくまひけるひ、 もうせん あんぢとの こもうめぐ  
くあるよ よりと この おきとを めき あらへー あり。<sup>7</sup> されど  
ゆるせり。 あもりひくまひけるひ、 もうせん あんぢとの こもうめぐ  
くあるよ よりと この おきとを めき あらへー あり。

<sup>7</sup> この ゆゑよ ひとり ちく まと まあれ その つまよ そあと あ  
りん いのうひと ある べー。<sup>8</sup> されば ゆはや ふくりよ あトせ、  
のりうひあり。<sup>9</sup> これよ よりと かきの そとせー ゆめん ひとこれと  
さあを べうトせ。<sup>10</sup> りくよ おりて でーども あく この ことと とひ  
くらげ <sup>11</sup> あす われよ いひけるひ、 されよ ても つま と いづまーと  
わうの せん多と めとる ゆめん その つまよ さりーと めふりふと  
おこあふ あり。<sup>12</sup> せんま その そとと きく わうの ひとよ  
とうくらげ この せん多と めふりふと おこあふ あり。

<sup>13</sup> ひとつ あすよ さとと せんと おきあごと つれきくりければ  
でーまち その つれきく ものと とぐめへり。<sup>14</sup> あも これと そと  
いづまと あくと われよ いひけるひ、 おきあごの これよ きく もと  
ゆるせ、 これと きく あく あり。 カきの まうり ごとよ ごくする  
ものと めくの ごとよ もの あり。<sup>15</sup> これ あととよ あんぢとよ  
つけん、 これよ ても おきあごの ごとく あーと かきの まうり ごとよ  
うけきる ゆめん その さりとひよ うことと えせ。 <sup>16</sup> つりよ あす

めれとめりやうちをそのうへつけをこれをあくへまわへり。

<sup>17</sup> 無すまぢよりぞーとせひとりそーりきへりひぎまじきを

めれよとひけるひ、よせせんせりよ、これめざりをまつめらを

つぐふみへあるとあすべせら。 <sup>18</sup> 無すこれよいひけるひ、あんぞ

されとよせととあかはや。よせゆめんはまじひとりをあそちかと、

このあうはあることあー。 <sup>19</sup> あんぢおきへどある、ひとつどう

きるあうれ、めりのえすることあうれ、めをむことあうれ、

りうもりのあふうととまうるあうれ、めをむるあうれ、あんぢの

ちもともとうやまくと。 <sup>20</sup> そのひとこまくとひみけふひ、せふ

せりよ、これとのことひこれりとけあきよりまあこれとまわれり。

<sup>21</sup> 無すこれとめくらきとりうくーみりみけふひ、あんぢひとりの

ことをめく、あんぢゆきとめくらうものとことどくうりまく

ーき めのよやどくせ。がむねばあんぢのまうとてんよあとん、

あうとてまくらりされよ あくぐへ。 <sup>22</sup> めれこのことまよよりと

のあーとうれひとまうり・そんめれおうひあるあんぢりとめくべ

あり。 <sup>23</sup>

無すまおもーとでーまぢよりひけるひ、まうトをもむる

ゆめくかきのみくよくりきりうよゆめくのゆ。 <sup>24</sup> さてでー

まちこのことひをあやーむ。無すあくこまくとひひけるひ、こと

よ、「まうトとまのむもゆく」かきのみくよくりきりうよゆ

めくらのま。 <sup>25</sup> とめるゆめくかきのみくよくりきりうよゆ

めくらのめととあくのくのてやまきことあり。 <sup>26</sup> でーおうひよ

おどろきとまくひよりひけるひ、さとばされら まくひとまくら。

<sup>27</sup> 無すめれとめくらきとりひけるひ、これひとよおりくらあくと

ぎるところあれとかきよおりくらあうとく・そん、かきんまぐの

こととあーうれぐあり。

<sup>28</sup> さてべとめれよのまりとひひけるひ、まよ、これとひひけるひ

とすとくあまくよあくぐへり。 <sup>29</sup> 無すのまみひけるひ、これ

あくとよあくぢよつけん、これおふびふくのゆのまよりく、

まやうめり、あまく、まく、ことむ、あまひんでんぢとまくら

ゆのく <sup>30</sup> いきのよよおひとひやくをりとうけざるものかく、

せあともちりぐ、きやうがり、あまい、まみ、ことむ、でんぢとくふー  
きと とめよ うけめり うじりの よよおりて のぎりあきりのちを  
うけん。<sup>31</sup> されどおろこの さきの もの あとよあり、あとの中の  
さきよ あとう。

<sup>32</sup> のれト あるさきむよの がるとき とううすを あを でーよ さき  
さらそ ゆき ければ のれト おどろき からねそれで これよ あくぐ  
へり。<sup>33</sup> あるあを おうみの でーと ともあひて おのれグ まくよ  
あそぶと ちるところの ことと のれトよ のぐりて ひける、ミよ、  
かれじつまあるさきむよの がるところあり。そくすて まんげんの  
むもく さうきりーと あよやくよ 可くさん、のれト あきりよ  
さすめて ひぐるよ 可くさん。<sup>34</sup> あるのれト あざけり つをまー  
めり むち うちと こりと こうさん・されど みのうの のちよ ま  
ぐくろべー。

<sup>35</sup> その とき せべたいの むすこ やこぶと よはね 穂先よ きくまりと  
りひ けきり、せんせりよ、ひぐりトグ ゆとりと ところと ひぐりの

さめよ あー さあさん ことを ねぐふ。<sup>36</sup> あを これよ ひ さまひ  
けふん、さね あんぢトの さめよ あふと あを ことを ねぐふや。<sup>37</sup>  
<sup>37</sup> ひれト ひひけふん、ひれトの ひとりと おんきうえの うちある  
あそびの さぎよ、ひとりと ひぐりよ せうめ あまく。<sup>38</sup> あを こくへ  
けふん、あんぢト ねぐよ ところと あトを。あんぢト ひぐのむ  
ところの さうげきよりの み、ひぐ うけふと あると ところの あげめを  
うけうる。 <sup>39</sup> のれト うけうると こくふ、あを ひひ あまひけふん、  
あんぢト ひぐのむ ところの さうげきよりの み、ひぐ うけふと あると  
あげめと うくふ あとう。 <sup>40</sup> されど ひぐ さぎ あまひひ ひぐりよ  
さまふ こくひ ひぐ あまひ づき ものよ あとう、ひぐ こねん うくづき  
もの さめよ そあへとれそ その ものよ あとうべるべー。<sup>41</sup> あう  
ふんの でー この ことと さくと やこぶと もはねを ひぐり もとめ  
ければ <sup>42</sup> あを のれトを よびて ひけふん、ひぐるの きと ありと  
おもとまく ものへ こねと おさめ、その おろひ ある ものへ こねと  
おはい もの ことを あんぢト しら。 <sup>43</sup> されど あんぢトの うち

あうとぞ。されども あんぢとの うち おわひ ある ものと あんぢ  
ことと わけをる ものと あんぢとの あゆびと あり、<sup>44</sup> あく あんぢ  
との めーじと あんぢと わけをる ものと すゞもの ものと つ  
されびと あるべー。<sup>45</sup> そんふんげんの むすく りとよつら  
じるく くめよ まへとす、 わくりて つらかる くめ めり おのれの  
りめらと すらく おわきの ひとと あぐをとん くめよ せぐれり。

<sup>46</sup> つりよ のれと ありこより くわり。ゑすでーくち おふび おわきの  
ひとびと ともよ ありと とりづる とく こまいの むきとばる こまいと  
りあめくと ことか みちの やまとよ ぎー あくらりー<sup>47</sup> あざ水の  
ゑす ありと さくと ふをとり ひけふと、 だびての こゑすよ、 これを  
あもれと くまく。<sup>48</sup> さて おわきの ひとびと のれびとまら やうよ  
これと いましめ けれども あすます、 だびての こよ、 これと あもれと  
くまくと おむくらり くり。<sup>49</sup> 爰す こち とく ありと、 かれと よびと  
めりと くまくり。のれと めくと おびと ひけふと、 やまく  
せよ くと、 えす あんぢと よび くまく。<sup>50</sup> めくと その うもぎと

すて おどり くちと あすよ くわれり。

<sup>51</sup>

され あんぢよ あよと あす ことと ねぐらや。めくと こくくと いり  
けふと、 かくよ、 これよ くちと えくと くまく。<sup>52</sup> 爰す  
かれよ、 めけ、 あんぢの あんぢう あんぢと いやすりと のく まひ  
けねば くらちよ くちと えくと おひと あすよ あくらぐり。

詩正章

のれと ある さきむよ ちうりき かんらんざんの べと たげと  
べたに やより くらりー うす ふくりの でーと つらまーと いひ くまひ  
けふと、 あんぢと むらかの シトよ めけ、 これよ いとばくらちよ  
ひとの いまと のじさる。とくちの つあける ろきの こよ あもん。  
かれと ときと ひか まへれ。 3 されら もー あんぢよ、 あんぞ  
のくさんと くら。 4 つりよ のれと のきー うーと おんの そとの  
ちあくよ つきばる ろきの こよ あひければ これと とけり。 5 めく  
くよ くらる ものと ある ひとめれと いひけふと、 あんぢと  
ろきの こと ときと あよと あすや。 6 こくよ ありと のれと あきの  
○まるこどり十一あやう 11

りのせー ひとくこれらよ つづりければ われと ゆるーへり。さて  
でしども あきよろをの ことひきまへりて おのれの きのむのを その  
うへよ おきければ あす これよ のり まかへり。<sup>8</sup> おあくのひと  
おのれの きのむのと まちよ おき、ある ゆめん まくけの きのえどを  
きりて まちよ あきへり。<sup>9</sup> ある さきよ ゆく ゆのと あとよ あくぐふ  
もの おむくりて いひければ、ほぎあ、まきの あよ ありて まかへる  
もの おむくりて いひければ あり。<sup>10</sup> されどの ちみ だびでの まくとふと まら  
めぐら まのむか あり。<sup>11</sup> つりよ ある さきむよ いきり あす みゆよ いりて まぐそ  
あれ。 つりよ ある さきむよ いきり あす みゆよ いりて まぐそ  
ものと まよこー ゆあくとよ ありて あすの でーと とくよべた  
に やよ ゆけり。

<sup>12</sup> ある ひべたに やより つへる とき あす うゑ まよひー<sup>13</sup> も  
ある いぢド<sup>14</sup> きの きを もようよ まて、その うへよ まと まのまを  
あとんとて こねよ まくさる。されど その わうよ あす も まくさりき。  
りよよ いぢド<sup>14</sup> きの あうよ あとさる あり。<sup>14</sup> あす これよ

もうひて ひひ まひけば、こね もこの のちり まやも あひぢの  
もと まよふ まと。でーまち これを キけり。

<sup>15</sup> ある さきむよ いきりて あす みゆよ いり みやの うちよを うり  
わひする むのと おひりがー ため、りやうぐ<sup>16</sup> やの どうと とととを  
うる ゆのと こーうけと まかー <sup>16</sup> ゆう ひとの うつとを ゆめと  
みやの うちと とある ことを ゆくまき。 <sup>17</sup> ある われとよ まーくを  
りひけふ、ヤゲりへん せんまんの いのりの いへと あげけとる  
べーと ある されよ あどせや。されど あんぢと これと とうぞくの  
きどくうと あせり。<sup>18</sup> ドリきりーと あよやくとも これを きく、  
のうじして あきを わうがきんやと まうれり。そへ ひとびと ま  
のれの せーんよ おどろきーの あよ われと これと おそれくらうあり。

<sup>19</sup> ぬうくよ ありて あす みやと とひを まよへり。  
<sup>20</sup> ある あきの あきわれと いぢド<sup>14</sup> きの きを まぐる とき その ね より  
のれくよ と ま<sup>21</sup> べて あすの ことを おゆひりがーと、らび、  
ああくの のろひーと こうの いぢド<sup>14</sup> きの われくよ まよへ

ひとりくり。<sup>23</sup> 爰す こゝらんをりひけり、かとを あんせべり。  
<sup>23</sup> 己れまことよ あんぢトよつけん、されましもこの やまよむうひ、  
 あんぢとり あけとれて うちよ あけとれると ひひ、こゝらよ う  
 ぎをそして、つゝとこうの あじき あうと あんせば その ごとくよ  
 あとん。<sup>24</sup> ゆゑよ 己れ あんぢトよつけん、まぐそ あんぢどう  
 むとめねぐふところの ゆめん これをえぐりと あんせば その ねぐ  
 ひの ごとくよ あとん。<sup>25</sup> めり あんぢト こちそりのるとき ゆー<sup>26</sup>  
 ひとそりうる べきこと あじば これを ゆるを。さすれば てんよ  
 いまを あんぢとの ちも あんぢとの あやまちを ゆるー さまさん。  
 「されど あんぢト ゆー されと ゆるを すみば てんよります あん  
 ぢとの ちも あんぢとの あやまちを ゆるをうるべ。」  
<sup>27</sup> めれと あさ あることを りりくりて 爰す みやの うちと あさく  
 とき ざりきり、あよやく、とへよりども めれよ きりりて りひ  
 けくわ、<sup>28</sup> あんぢ あんの けふを もりて これとの ことを おこな  
 ふや。これと あす くわよ このか けふを もりて あさくへー されぞや。

<sup>29</sup> 爰を めれとよ ひけり、されも あんぢトよ ひとりの ことを  
 ともん、されと こゝらよ。さすれば 己れ あんの けんゐと ゆりて  
 これとの ことを あすやを あんぢトよつけん。<sup>30</sup> よはねの あぐめん  
 てんより、あんけんより、あんぢト 己れよ こゝらよ。<sup>31</sup> めれと  
 うけひよ あんぢとて ひけり、ゆー てん よりと いそゞ めれ  
 りもん、さとば あよ ゆゑめれと あんせざりーやと。<sup>32</sup> あうとば  
 われと あんけんよりと いそんや。されど めれと こゝらと おそれより。  
 そんひとびと きも、よはねん まことよ よけふを やありと おゆくべ  
 あり。<sup>33</sup> つゆよ 爰すよ こゝらとて、されと あとせとりくり。あす  
 めれとよ ひけり、されも あんの けふを もりて これとの  
 ことと あすやを あんぢトよつけん。

よりふくらむをうけのそとをあゆびとひやくへやうの  
ゆとへつうもせよ。3 めねトこれらととくへとうちめりむあくく  
のくせり。4 あくとびわうのあゆびをつうもせよ めねトその  
めうびよきせうけてこれとそびうめめり。5 あくわうのゆのを  
つうもせよ めねトこれらとくろめめり。6 あくおあくのゆのをつう  
もせよ あゆびわうれをうち、あゆびわうれをくろめめり。7 あく  
ひとりのあゆむる むきこありーヶ、めねト えぐ むきこと うや  
あくあくとひそつひよ これをもつうもせり。8 されどひやく  
あやうとも えぐひよ ひのけふれ、これへ あとうぎあり。りぎ  
これとこうせ、またばのとくへせれとの ものとあうべー。8 つひよ  
とトへと これとこうせ、あがうをうけの そとよ あがうせり。  
9 またば あがうをうけの あがト あよと あがんや。めねまく  
ひやくへやうとも うちわうがーと あがうをうけをわうの ゆのよ  
あうくへ あトえん。10 セのーふよ、りくつうりの ちくらうりー  
りくの キミの オヤリーと あれり。11 これ キミの あー くまふ

うとうとて これらとの めよ ふ一ぎ ありと あるうちわーと あるぢと  
りある もあるがる。 <sup>12</sup> われと あきの おのれと なーと この こと  
くを のべりーと ありと われと とくへんと うのせーうど ゆ ひとり  
とをおそれて これを はりゆけり。

13 のち 空きを つひ あやまうせんとそ やりまじびと へろてび  
との ちよんと つらせせーぐ めねと つうりて 空きよ つひ けふく、  
14 せふせのよ、 やれと ああくへ まことうーと くわかむ めくふく  
さると ある。 そん、 ああくへのや のくらを ゆのて ひとつと とくす、  
25 あると ゆのて かうの くらと をーへ くまくへ あり。 あい  
さるよ みづがと おさむる おさや ひあや。 おさむ べまくら、 おさ  
めさる べまくら。 15 空す その つうとり あると さとりて つひ けふく、  
あると されと くまくら さる。 さく さる くめよ せん ひとつと ゆち  
さく。 16 めれと ゆち さく けられ ければ 空す これよ つひ けふく、  
この 空き さくと あく くへ くわのぞや。 めねと せいざるの ありと  
くまくら。 17 空す これよ めくらと つひ けふく、 あく さるの ゆめく

せらるよ めぐれ、かきの ゆめり かきよ めぐれ。めぐれと これと  
あやーきなり。

<sup>18</sup> ようぐくの ことか あーと つりよ と ところの さざめいびと あまよ  
きふうりと とひりひける、<sup>19</sup> せんせりよ、もうせ あまよと これとよ  
あめせり、 もー かきうづひ あくつをの と ああびの ねの  
きやうづひ その つをと めとりと きやうづひの ようぎを さう  
べーと。<sup>20</sup> あらよみの きやうづひ ありーぐ そりやう つをと  
めとり ようぎとの こきよと あせり。<sup>21</sup> まー おあんこれとめとり  
のれも ようぎ あくと あせり。<sup>22</sup> さんあんゆ おあんとく あせり。  
<sup>23</sup> かくの ごとく あらよみ まで まよ ようぎとの こきよ、 つひよ その  
をふる も あせり。<sup>24</sup> さうが ようぐくの と まよ この をふる  
うれの つまと ある べきう。そん あらあんと も ま やれと つまと  
それと あり。<sup>25</sup> あす こくくと ひひける、 あんびと せりーと  
かくの ちうとと あと せよ よりと あやめりよ あと せよ。<sup>26</sup> それ  
ひとと あより ようぐくと きかめと う ことか よめりり きら ことか

あー、 ふと てふよ あら つうひくちの ことー。<sup>27</sup> あきる ゆめ  
ようぐくの ことよ つりくに もうせの あき あやうがくの へふよ  
かきの めくよ めくりー ことと の セーと あんびと ひよど ようぎ  
くら、 ああむち、 あねん あぶらはむのかき、 いざこの かき、 やこがの  
かき ありと。<sup>28</sup> めぐれ あくよ あくよ かきよ あとよ、 ひけら  
ゆのく かき あり。 あんびと おわひよ あやまれり。

<sup>28</sup> あふやくの ひとり きふうりと めぐれと ようふくよ  
きく やく あきの あく こくくよと きて めぐれよ とひ ひける、  
あきの おきと の うち うげくよと きて めぐれよ とひ ひける、  
こくく けく、 あく うげくよと きて めぐれよ とひ ひける、  
あれと の かき ある あく ひひとりの きと あり。<sup>30</sup> あんび こくくと  
つくー、 あく ひとつくー、 あく ひとりとつくー、 ちうとと つくーと  
あんびの かき ある きと あり す べーと あり。<sup>31</sup> まー だひの すれ、  
おのれの ごとく と ありの ひとと あり す べーと あり。 これと あり  
おわひ ある おきと あり。 <sup>32</sup> きく あふやく あきよ ひける、

よひめあせんせりよ、かまくひとりよしそのわらよかをあーと  
あるこのりひーへあととあり。 <sup>33</sup> あーこまうをつゝー、さとりと  
つゝー、ちうーとつゝーとこれをあいー、あーおのれのごとく  
とありのひととありあむことくありまくやまくらむくびのふくと  
そあくものよりあむるあり。 <sup>34</sup> あすめのゆーくくこまくーと  
そそこれよりひける、あんぢんかまのまくりどとよとわうトキ。  
こののち、これゆあくとあまよとふゆのあトざりき。

<sup>35</sup> あすみゆおりとぞーゆるときのくまひける、きりヰと  
だびてのこありとあふやこのりかへりうぐぞや。 <sup>36</sup> だびてミヅトト  
きよきみよよりそりくり、りとく、かまくぢきまよのくまひ  
けく、これあんぢのてきとあんぢのあーざりとあすまをうぐ  
ミギよせせよと。 <sup>37</sup> めくだびてミヅトトヨリ志ととま  
く、さトバめれんりうでそのこあトふや。ひとつとおあく  
よろこびてあまよきけり。

<sup>38</sup> あをきーくをあせらとまめれトヨリひける、ふふやく

きをつりよ。めれんあぐまこうむとまをあらくこと、りちむよ  
おりとあひまらきること、 <sup>39</sup> くをりどうのめうき、あまみの  
あまうせきとこのと、 <sup>40</sup> やゆめのりくとのと、めらくせうけの  
うめよあぐきりめりとあすものあり。めれんめりともおわむ  
あるをりとうくるあん。

<sup>41</sup> あをさりせんをとのむらあよざしてひとつとのめねをその  
もとよあけりふくとみるべりーぐおあこのためるもめんおあく  
あけく。 <sup>42</sup> そのとまひとりのあげーきやゆめきくりとせよ  
あくらきあそちあらぬよあらるゆめをあけられければ <sup>43</sup> あを  
でーとゆとよびてりひける、これあくとよあらぢとよつけん、  
このあげーきやゆめくさりせんをくよあけられくらむくびの  
ひとひとよりゆおあくあけりれり。 <sup>44</sup> りうふとあればめれん  
きあそのあまれるところよりあけりる、されどこのをふきん  
そのとがーきとくろよりおのれのあんぢのまくらむくーと  
つゝもあとよあげりれくらばあり。

第三章

あすみやよりひでーのひとりめよりひける

へ、せんせのよみくまへ、これりうちありー、りうちありりく。

<sup>2</sup>あすめよりひける、あんちこのおわひあるりくを  
みる。こよひとつめのりーのうよくげれきよんのと  
トぎるべー。

<sup>3</sup>あすめよりひける、ありみやむりひとさせーときべて、  
やとが、よはね、あんてれひそくよめよとあそりひける、りう  
このことあんちよ、めうそのことのまあとけんとするとき  
りうあるあよーあよー、これじよつけまく。<sup>4</sup>あすこよくそ  
りひけく、ひとよまともさされぬやうつまーめよ。<sup>5</sup>そん  
ねわくのひとひとひとせーあそゆれてきく、せーそのの  
ありとりひてもうもうのひととまとせー。<sup>6</sup>あんぢとりくさ  
あすりくさのふうぶんをきくときうくわるあうれ。このこと  
のあうれ、あよー、されどぞそりくわりよりうとす。<sup>7</sup>そん  
くさよさうとひ、こよくくよくさうとひおととん、あよあよ

ちーんあり、あよきくんあるべー。これトヒコキモリのそトぬ  
あり。<sup>9</sup>あんぢトミケウトつまーめよ。そん、ひとびとあんぢトを  
ひやうぎよこくまく、あよあんぢトくさりどうよおひそむち  
ううれん、のうなげくめよあうーとあくととつうさとこくうの  
あくよひきつとくらべー。<sup>10</sup>あうーとさうものおとくねん  
あうぢんくよりひひろめとるべー。<sup>11</sup>ひとびとあんぢトを  
ひきくよとあよとひそふやとあうトめおむんをうる  
あうれ。そしのとよあんぢトよとまともとくうのととせりふ  
べー。そん、つよゆわへおやよそむきをおこりのうめりととらか  
<sup>12</sup>きゅううづひくきやうととくうのととくうのととせりふ  
くよー、あどむへおやよそむきをおこりのうめりととらか  
れん。されどをそりまでこくーのぶゆわへおこりのうめりととらか  
<sup>13</sup>あよぢトみくわづきあとをゆわへくらづうとくろよ  
くうをみぐ「おむのよくのふぐくよ」みだやよをうひとびとい

やまよのぐるべー。<sup>15</sup> まふりくのうくよどるひとくうちよ  
くぢりあるひへ ものと とじんとそりくよりら あられ。<sup>16</sup> まふ  
けよどるひとも そのきゆのと とじんとそめくら あられ。<sup>17</sup> その  
ころもためる さんあと ちくとのおきる さんあん こきどひ ある  
のみ。<sup>18</sup> そのことあゆよ あじぎる やうよりのれ。<sup>19</sup> そん、かきの  
つくり くまひー めりびやくの そじめ より しまよりくら まを  
まふのちよも あじぎる わどの さりさん その とまよ あじえ。<sup>20</sup>  
かとそのひと まくあく まくよ あじぎれひとりの まめよ その  
もの あー。されど その えとまくまひー えりびとの まめよ その  
ひと まくあく まくよ。 <sup>21</sup> その とき されう さんぢうよ、まよ  
こくよ まく あり、あむひへ、まよ ウーくよ ありと じくとも  
さんぢう これと さんぢう あられ。<sup>22</sup> そん かせ まく ありと じくとも  
あけんへ やくち おこりて あむびくべ えとびびとを も あどもす  
やうよ あるーと あーぎある まきと あじともさん。<sup>23</sup> さんぢう つ  
しめ、されあじうトめ まくの ことと さんぢうよ つぐるあり。

<sup>24</sup> その ころ こね あやうの のち ひん くとく あり、つまん その  
ひうりと てトさせ、<sup>25</sup> カーへてん より おちて そとの つうきども  
ある さんぢう。<sup>26</sup> その とき ひとびと ふんげんの むきあの おわり  
ある ちうと えのこうと ゆりて くもよ のり まくまくと まえ。<sup>27</sup>  
<sup>27</sup> まふのねん つうひくちと つうもー てちの そそりて なのもくよ  
りくら まを あくす より その えとまくら ものと あうめん。<sup>28</sup>  
<sup>28</sup> ひちトくの きより うとくと ああぐ。その えど まぐよ やくじう  
よーと そとめぐむと さん さんぢう あう。その えど まぐよ やくじう  
うとく さんぢう ら こねとの ことの あると まぐと き ちうげまそ  
めと ぐらよ おあぐらと あるべー。<sup>29</sup> めくの  
つけん、この ことの まを ある ま てこの おまくら まぎせ。<sup>30</sup> てん  
ちううせん、されど まく こと まく うせぎるべー。<sup>31</sup> てん  
ときひまく ちくの わく てんの つうひも むきあむ くれむ こねと  
あトせ。<sup>32</sup> さんぢう ときの ひく まくまく も あじぎる ゆゑよつ  
一ミメと さまー て ひのるべー。

<sup>34</sup> これ、あるひとおのれのいくとこれにてさひするとき  
あるじども受けゐるをまうせ、おのあゆふあごとをさげけめら  
もんをもよめのとてきをつけ一むすびこと。 <sup>35</sup> このゆゑよ  
きをつけよ、あんぢりくのあるトのゆへるときにゆうべ、ある  
ひれもあるあらひへふそとりあくころ、あるひへよあけあるうを  
あさぎれりあり。 <sup>36</sup> おそとくへおももぎるときよきなりてある  
ぢうのいねうるどものざくらん。 <sup>37</sup> これあるぢとよきとつけふと  
りひーこととあるをばとのひとよつぐるあり。

**第十四章** ふううののぢへとねあきはるのありりあるきぎこと  
あり一うぎさのさのとあふやくともさきうりをよりてあせを  
ととへこうさんとそりれり。 <sup>38</sup> されどやれりひけふり、もう  
りよおりてあすべり。おそとくへとみのさうどすおことく。  
<sup>39</sup> あすべたにあよおりてらりひやうのあもんのいくよありそ  
せふよつとときあるをふまろうせきのつがのあさひくうき  
きあるどのあぶとをあちきりりそのつがをさりてあすのめう

ぐよそくけり。 <sup>40</sup> そよどるゆのりうりをあくとそくぎりよ  
りひける、ゆくあぶとつひやすへあんぞや。 <sup>5</sup> このあぶとん  
きんさんびやくあたりようりてあうしまきゆのよわどとすくとを  
えー ゆのをとふをとつぶやけり。 <sup>6</sup> あすりひける、これよ  
ゆうそるあうれ、あんぞかねをあやますや。このをふあんこれよ  
よきことをあせーあり。 <sup>7</sup> まげーき ゆのへつねよあんぢとと  
ともよあり、あんぢとこれよよきことをあさふとわせせりう  
ふてもあーうべー。されどこれらへつねよあんぢとともよそト  
きるあり。 <sup>8</sup> われんちうとのおふぶだけをあーうり。これあト  
うとめさうのトダよあぶとつけをわうむりのようりよあせー  
あり。 <sup>9</sup> これあととよあんぢとよつけん、せうのぢうりぐく  
よてもさうのゆうりのおとうれのいひひうちめとくらふへこの  
どんのあせーこととそのゆうみとーといひつまへどるべー。  
<sup>10</sup> そのときぢうのうちのひとりあるいせかりおてのゆだゑすと  
きふさんとてさのさのとくとよゆきー <sup>11</sup> われトこれを

きとて あうそび されよのねを あくへんと やくそく あーけれど  
ゆだ 空きと きくさんと おりを うらぐり。

<sup>12</sup> さねあきはんの あたりの もじめのひ まちまきごーの  
らひうどを わかるとき でーうち 空きよひけん、これといら  
くへゆきて ああるの まきごーの あふきと そあゆふことを あい  
さあふり。<sup>13</sup> さて 空す ふたりの でーと つらそーと ひけん、  
あんぢう みやこよ ゆけ、さとば みびケリを おあくる ひとよ  
あもえ、これよ あくへん。 <sup>14</sup> その ひると うの あるトよ  
つけよ、おしゃうりふ、これでーと とゆよ まきごーの あふきを  
あせべき さやくざーきん ひづくよ あわやと <sup>15</sup> さきねば そあへ  
ようの あくへん おあひ あら あうひ ざーきを あんぢうよ させん。  
そとよ されとの くめよ そあへよ。 <sup>16</sup> その でー ひぐみ みやこよ  
り うりよ まくーと 空すの ひひ まみひー ことく あひければ まき  
こーの そあへを あせり。

<sup>17</sup> ゆうらへ 空す あうかの でーと とく うりへり

<sup>18</sup> せんよつきと

あよくまう とま ひひ まひ けん、これ まくとよ あんぢうよ  
つけん、あんぢうの うちの ひとり されと とゆよ あよくまう むの  
されと きくまえ。 <sup>19</sup> さて でーとも うれひと ゆふかーと ひとり  
ひとり、これ これ あふうと ひひ けりば <sup>20</sup> 空を こくへ けるへ、  
あうかの うちの ひとり されと とゆよ てと そちよ いる むの  
あり。<sup>21</sup> あんけんの むすあん おのれよ つりて あうされー ごとく  
さる べー、されど あんけんの むすあそ きくす ゆめん ききもひ  
ある め。 ゆー その ひと むまれぎりー あとば のれの くめよ  
ようりー ゆのと。

<sup>22</sup> われと あよくー きるとき 空す はんと とり あくーと これと  
さきでーと ゆよ あくへて ひひ けん、これと これ、これ こぐ  
めと さ あり。<sup>23</sup> あー ちあくと とり あやーと でーうちよ あくへ  
けれど われと きみ これとの めり。<sup>24</sup> わう われと ひひ まみひ  
けれど、され やくそくの きが ちよーと おあくの ひとの くめよ  
あぐす ところの ゆの あり。<sup>25</sup> これ おととよ あんぢうよ つけん、

されかきのみくらむおりてあくたーを ものとのむひあぢれ  
りまよりのちふどうのちるとのむ あト。 <sup>26</sup> めれと うくと  
うくかてのちめんじるぎふよぬけり。

<sup>27</sup> あす めれとよりひけり、あんぢと みまつまづくられん。  
そん あくして、これひづくらひと うくよひくちとされると  
あるよ よりてあり。 <sup>28</sup> さねど これよきぐくりそのちあんぢとよ  
さきどらをがとひよゆうん。 <sup>29</sup> べてろめれよりひけり、みま  
つまづくらるとむ かれづまづくられト。 <sup>30</sup> あす りひ さまひ  
けり、これあことよ あんぢよつけん、けふこの よふもとり  
あくとび あく あくよ あんぢ みくび かれと りあさん。 <sup>31</sup> あう  
きよ べてろあやもけくへりひけり、ああうととよあきよとむ  
されけりて ああうをりあまと。 わうの でーしゅ みまめくの  
ごとくりへり。

<sup>32</sup> めれと げりせまねとりよとこうよりうりて あも でーしゅ  
りひけり、これ りのう あひよ こくよ ざせよ。 <sup>33</sup> さて あも

べてろ、やこぶ、よはねと ともあひゆまとあまよおとうきめりめ  
じきと ゆよかーと <sup>34</sup> めれとよりひけり、えぐ こううりく  
うれひと あむる わど あり。 あんぢと こくよ あらためと さま  
ぞれ。 <sup>35</sup> つゆよ きとく きく ちよひれかーと、ゆー あうづくば  
このときの われあり さる やうよと ひめり。 <sup>36</sup> めら ひめ  
けり、あそちよ、ああうよ おひくら あくをぎる とこうあー。  
ねぐもぐれこの さうげきを これよりとりくまく。 あうれども  
さげわにする ところを あきせ、さじ ああうの わけする ところを  
あー まく。

<sup>37</sup> あそ むとよ みへり めれとの りねくらと みそ べてろよりひ  
けり、あもんよ あんぢねむすら。 ひとくさも めを さまー そる  
こと あくをぎる。 <sup>38</sup> あとそーよ いとぎる やうめを さまー やう  
りのれ、こううへ あことよ わけすれども ふくさい よくまき あり。  
<sup>39</sup> あす あくとび ゆき ねあト ことをとりひて ひめる。 <sup>40</sup> めくへり  
ときのれとのめ つうれぐまよ よりて あく そとのねむれると み

けれど めねと あると こゝの べきやを ふと さり。 41 あそび  
きりて めねと りむけむ、 いまあやねむりて やすむや。 ある  
あんあり、 ときわ ひまわり。 いよふんけの むまおつみびとの  
てよ ひまわり あり。 42 おさよ、 めねと ゆくべ。 いよ あれを  
ひます もの ちうげり。

43 あす ああめまう うちよ うちまち ぢうふの でーの ひとりある  
ゆだ やりをと がうを むちまう おあせりの ものと とくよ ぱり  
きり、 あふやく、 とーよりの ゆと とりまくる。 44 あそと ひくを  
ゆの めねと わひげを あめーそ いひーこと あり、 いもく、 ひぐ  
くちうけ きる もの これ きあそち そのひとあり。 これと ととくそ  
あうと ひきつねふと。 45 ゆだ きまく て くじらよ あすよ ちうげき、  
らひと いひて これよ くちうけせり。 46 こくよ おりと ひとびと  
あすよ てを めけて これと ととく。 47 あくまくよ くちうけ ゆのく  
ひとり やりを みまく きりの きさの あめぐを うちそ そのみくを  
きりおとせり。 48 あす めねと めくりて ひむけむ、 あふやくと

とうぞく もうふく ひとく やりをと がうと ゆのく きれと とく  
くよ きまく。 49 めねひく あふやくと とくよ みやよ ありそそ  
くよ とき あふやく なれと とくへきり。 なれと こんせり あよ  
めあふ やうよ ありまる あり。 50 その とき でーくち きを あすと  
そあれて あけく。 51 あくまくよ あめぬのを あとくら ひとの  
きらゆの あすよ あめぐひ あめく ひとびと これと とくへけれど  
めぬのを きそ そくら あて あけく。 52

53 ひとつ あそと ひくの きくよ つね ゆきへ 、  
とーより、 あふやく まむ めねの ゆとよ あつありく。 54 べくろ  
とあく あれと あそよ あめぐひ きりの きくの でくふよ まそ  
いり あめぐと ゆと とくよ ざーと ゆよ あくまく それり。  
55 あめぐひ ひとと あめぐの ひやう あん あそと こうさんと て めねよ  
つりて あふうと あとむれども えせ。 56 おあくの ひと めねよ  
つりて あふうと あうれども その あふうと あそ  
ぎり。 57 ある ひとつ あそと めねよ つね ひくの あふう

うと まとも うひ けむれ、 58 され めうそ のねが ひとの てを  
ものと つくりくる この みやと こがち 三のうの あひよす てを  
おちひきーと わうの みやと まとも うひーときけり。 59 されど  
その あまうとも まへ あそぎうる。

60 そのとてまづのことをもうなべせを思ひよどりいじりゆく  
あるぢああむこゑへざる。あるぢよつりてまづこれうの  
ああうそんづうじや。61 あすゆくーをああむこゑへざりければ  
さりーのをきまよめねよとふてりひけり、あるぢにわむづき  
かきのむきおきりもとあらう。62 あすりひけり、ありり。ある  
けんのむきおつうりきあらゆのくさぎよざーめりてんのこゆよ  
のりてきくふをあるぢとまうべ。63 こゑよおりてさりーの  
をきおのれのこゑよをまきとりひけり、64 かれとあるぞこの  
わらよああうそんづうじめんや。あるぢとそのけげをことを  
きけり。りうじおもふや。めねとこぞのてこれをあすづきゆのと  
さざめり。65 あるゆのむれよつむきーめりそのめあを

おろひこが一よそめれをつまむ、よけふせとりふ。あらあらうど  
どもくでのひとみてこれとよきり。  
66 べてろおさよをよあり一ヶ まのいのをうのあらおゆめまく

りをへてこのもよあくまくありをもともつとうとこれをもと  
67 あるぢむあざれのゑもとともよせりりとりへり。<sup>68</sup> べてろこれを  
のあそと、これもあトモ、あるあるぢのりふとこうをもさとと  
さととりへり。つりよけふとくふよいをければ「ふもとりあき  
くり。」<sup>69</sup> あゆめべてろをきのうもとよくするものよあくめく  
りをりひけるへ、これものとめぐとのひとりあり。べてろあく  
くびこれをいあむ。<sup>70</sup> おをトくーてめくもとよくするものあく  
べてろよりひけるへ、あるぢらまくとよめのとめぐとのひとり  
あり。そんあるぢがまくいのひとあればあり。<sup>71</sup> さてべてろかきの  
くさりをさーてちうひりひけるへ、あるぢトケりふとこうの  
ひとれこれこれをあトモ。<sup>72</sup> そのときふととりあくまくびあき  
けれどべてろあきのふととりあくまくまくびあるぢもくび

己れをいあまんとりひーことを おがん これをおもひて ある  
のあーめり。

## 第五章

よあけふうちよさのさうへんとーより、あふやくおふび  
きぐとの ひやうぎふんと ともよ もうりて あまを あむり ひき  
つれとびとよさらせり。 2 びととあまよとあそりひける、あん  
ぢれゆだやひとの さう あま。 3 こくへてりひける、あんちの  
いへるげどと。 3 さうのさうへんちおわくのこととゆりて これと  
うりへんけれど 4 びととあまのれよとひける、あんちあまゆ  
こくへんぎらり。 3 よ われとあんちとうのくへーこと いふをく  
ぞや。 5 されど あす ゆもや あまゆ こくへそ。 ゆゑよ びととこれを  
ひとりとゆるをことあり。 7 さきよ むちんを おこー めり むちん  
の あひだよひとどうーを あーへる とゆぐと ともよつあきねり  
ねくらばらばと いふ ゆの ありーで 8 ひとびとびとよ きくらりと  
その あトモーの さとうよ おとあさん ことを ねくへり。 9 びとと

のれとよ こくへ けくら、これ あるぢとの さめよ ゆだやびとの  
さうをゆくす ことを わりする。 10 こく びとだのさうへーと とも  
ねくらよ すりて あまを こくへせー ことを あねば あり。 11 されど  
だりさうへー ひとびとと きくらめと ばらばと ゆくらん ことを ゆとめ  
しむ。 12 びとと あまのれとよ こくへ けくら、さうべ あんぢとく  
ゆだやひとの さうと とあかる ところの ひとよ これ あまと あす  
ことを わりする。 13 のれと あま さけふと、これと そりうけよ  
せると いへり。 14 びとと あまのれとよ いひける、この ゆめい あんの  
あーき ことを あせーう。 のれと あすまを さけふと、そりうけよ  
せふと いへり。

15 びとと ひとびとと あんぞくくせんと わりーと ばらばを のれとよ  
ゆくへー あすと もち うちて そりうけよ せん さめよ こくへせり。  
16 つとものども あすと やくへーと ある ぶぎやう やーきよ つれゆき  
くみぢうを あうめと 17 のれよ むとくさの ころもを きせ、あま  
のをとめふむりと あまられを あふせと、 18 ゆだやひとの さうやす

うれよとこれらをあくま一もとめり。<sup>19</sup> あくまよーをゆうてそのやう  
ぐとうちこれらよつむきーめうひきすげきともりせり。<sup>20</sup> めくあき  
けりそのちのれとそのむとさきのこうすとそぎゆとのきゅ  
のときせてもりつけよせふとてこれとひくりがせり。<sup>21</sup> あくま  
ときあきせさんでるとるふのちくあもんとりふくれねのひと  
りありありとありゆとりければゆれとあひてこれらよあうじうと  
おもせり。<sup>22</sup> つりよゑをとごるごたもあもちとけをなれううづの  
ひとりふとくよひきりうりて<sup>23</sup> ゆうやくをませるふどう  
うけてのちそのまゆめりうれととくふやとくとひきと  
これとらう。<sup>24</sup> やれどこれとうけざり。のれとあすとより  
しゆをあくま。のれどこれとうけざり。<sup>25</sup> やれどもりうけーとまくあくまんと  
うけのちそのまゆめりうれととくふやとくとひきとひきと  
あります。<sup>26</sup> そのうへよ、ゆだやびとのくとあくまーるざい  
じやうげきあり。<sup>27</sup> 無事ととくよあくまのとうぞくと、ひとり  
そのまぎよ、ひとりはそのひぐりよもりうけよせり。<sup>28</sup> ゆき  
このひとびとのれとのくとくのうべとありてりがせり。<sup>29</sup> あく

みやとこがちをまゆうのうちよこれらをくわるゆのよ、<sup>30</sup> あわれを  
きくひて あうじう より くわれ。<sup>31</sup> びりかのうーと あふやくと  
とくよあがけりとくげひよりひけるに、われひひととくまく、<sup>32</sup>  
おわれをきくふことあくます。じきらえるのくうきりをとくよ  
あうじう より くわるべー。さんびこれらとこれとみてあふす  
ことをえん。あくとくよもりうけとれーゆのゆのれをそーれり。<sup>33</sup>  
あひるぐいろくどきよおふび、このときより くわくと  
きよつくるまでそのくあがうくとくあれり。<sup>34</sup> びりくとくとく  
あすおわどあよなけふを、えろいえろい、ふせせばくたにとくぐり。<sup>35</sup>  
これらととけぐ、口ぐかきくぐかき、あふぞこれらとみてくまく  
やとあり。<sup>36</sup> のうもとよくうくらうものきあんこれとみてくまく、<sup>37</sup>  
のれえとやとよぶとくぐり。ひとりもーりのくとすとく  
きくよあくよーめこれをよーよつけられよのませくりひけるに、  
あくよ、これとえりやのきくらりをのれをおろすやりあやとえん。  
あすおわどあよなけふをつりよりくらえり。<sup>38</sup> なんとみやの

あくうん より あくよ ひづる まで あくよ さけり。<sup>39</sup> 無すの  
むらふよ うち ゆふる ひやくあるの さうぢやう めねぐ のくの  
ごとく ひき まくらを そそりひけり、このひとへ あくよ  
ゆきの むをあ あり。<sup>40</sup> とあくより のぞみ ゆふる きんあくらも  
ありき。<sup>41</sup> その うちよ あすの せうじよ をる とき めねよ あく  
ゲひ つうくらむ まげだふの まりあ、 こくま やこぶと よせの そく  
まりあ おふび さるめ あり、 あく あすと とあく あるきを むよ のがり  
おわくの きんあむ ありき。

<sup>42</sup> この ひん そあくひ まち あんそくよの せんじう あれば  
ひくふとま <sup>43</sup> うのとま ひやうぎ あん ある ありまた やの よせふ  
ちどうじを びふとの あくよ ひりぐく あすの あくを ねぐへり、  
めねへ かきの まうりどと まち あくの もの あり。<sup>44</sup> びふと あせの  
まくよ あせーと あやーと くいぢやうと よびと、 めねへ あせー  
より ひくーきうと くいぢやうより これと  
ありて その あくを ねと よせふよ あくへり。<sup>45</sup> さて くいぢやうより これと  
ありて その あくを ねと よせふよ あくへり。<sup>46</sup> よせふ ぬのを めひ、

あくを ねと おうして これと ぬのよ つまみ りそよ やりくら まくよ  
おさめで いーと おけり。<sup>47</sup> まげだふの まりあと よせふの そく まりあ  
その あくも トれー とくろと そくり。

**第十六章** あんそくよの まきと まげだふの まりあと やこぶの そく  
まりあ おふび さるめ ひかり むのを ひきまくらりと あまを ぬくふと  
せり。 さて めれト ひとよそりの まくらの ひあさ そやくひの  
のがくと まくらよ ゆき くらぎよ ひくらりと ひけり、 まくら  
まくらの まくら もうの ひりくら まくらりと ひけり、 まくら  
<sup>4</sup> あくーと これらと のぞみ まくらべりーの まくら よまくら まくらり。  
その ひーん まあと おわひ あり。<sup>5</sup> めれト まくら より、 こくま  
ひとの あくき まくらを まくら まくらの やくよ ざすと まくら おとうま  
くら。 その ひと ひれト よりひけり、 おとうまく あうれ。 あん  
ちト まくら けり、 あざれの あすと まくら。 あざれ おまくーと まくらと まくら。<sup>7</sup> めつ ゆきと  
でーまちと べてろよ つけよ、 めねへ あんぢよ まくらへらと がく

ふいよゆうん。めうて あんぢトよ りひ なまひー びとくのーと  
すそ めれを みん。<sup>8</sup> そんま つゆよ まち より りひく すけり。  
そん わめきぎ めう おどうきくわが あり。あく わきねーよ よれを  
ひとこととも ひとつ めうト ざう。

〔<sup>9</sup> るすひとまよりの ちじめの ひよあけよ よしがくりと、めうを  
あきつの あくすを おひつぶー まよひー まげだらの まりあよ まげ  
あトモれり。 <sup>10</sup> その そんま ゆきと なきよ あもと とよなうり  
ものどもの あき めるーと るくと とき めれトよ これと つぐ。  
<sup>11</sup> めれト るまの ひよかと まりあよ ミノー ことと さくと これと  
あんせぎりー。 <sup>12</sup> この のち その うちの あくと あくせきと うよう  
ゆくと あを やきりくら やくらふと めれトよ あトモれり。  
<sup>13</sup> この あくと ゆきと これと わうの でよ つけくねども あく  
あんせぎりー。

<sup>14</sup> のち あうりうの でー せんよ つくと あを これよ あトモれと  
そな あきぐくりと のち これと みー ものを めれトゲ あんせぎりよ

よれて そな あーふうと こまうの みがきと とくめ くまぐり。  
<sup>15</sup> めう めれトよ りひ なまひ けく、あんぢト せうのぢうと めぐ  
りて せぐとの わゆよ なうのむひの おとづれと つまぐよ。 <sup>16</sup> あん  
どと あげめと うくる わゆひ まくまく、あんせぎる わゆひ つまよ  
きくめと うづ。 <sup>17</sup> あんせぎる わゆよ くれとの あくー あくがくえん、  
あもち あく あよ よりて あくまを おひりかー、ことくの こと  
をと うひ、 <sup>18</sup> あく へびと とり、あくひん どくの もとも  
あー・あく てと びやう あくよ つくれべ やまひりえん。  
<sup>19</sup> めうの さとく まき めれトよ めくりと のち てふよ あく  
かみの みぎよ ざー くまぐり。 <sup>20</sup> でー まち ひぐー あまねく あく  
りんを のべつまく、まみの めれトと とよよ そくと くわ そな  
あくゲふ とまうの あくーと ものと みことの あくーと あー  
くまぐり。〕

10

94-85003

牛町老司  
うしちやうじ  
吉良家

Gospel of Mark.